

KIRIN



Kirin Group
FACTBOOK

2026年4月

CONTENTS

- 1** **Our 3-year plan towards 2028 and The Financial Strategy to Drive It Forward / 2028年に向けた計画とそれを推進する財務戦略**
- Financial Strategy / 財務戦略
 - Non-Financial Targets / 非財務目標
-

- 2** **Corporate Data / コーポレートデータ**
- Business Overview / 事業概要
 - Key Financial Data Trends/ 主要財務データ推移
 - Stock Information/ 株式情報
 - Corporate History / 企業沿革
-

- 3** **Health Science business / ヘルスサイエンス事業**
- Health Science Business / ヘルスサイエンス事業
 - FANCL / ファンケル
 - Blackmores/ ブラックモアズ
 - 市場・自社データ/ Market & Company Data

- 4** **Non-Alcoholic Beverages business / 飲料事業**
- Kirin Beverage / キリンビバレッジ
 - Coke Northeast / コーク・ノースイースト
-

- 5** **Alcoholic Beverages business / 酒類事業**
- Kirin Brewery / キリンビール
 - Lion / ライオン
 - New Belgium Brewing / ニューベルジャン
 - San Miguel Brewery / サンミゲルビール
-

- 6** **Pharmaceuticals business / 医薬事業**
- Kyowa Kirin / 協和キリン

ROIC/EPS成長率の目標



▶ グループ独自の事業ポートフォリオで生活者の心と身体の健康に貢献することで、短期的にも中長期的にも一桁台後半のEPS成長率、ROIC向上を実現する

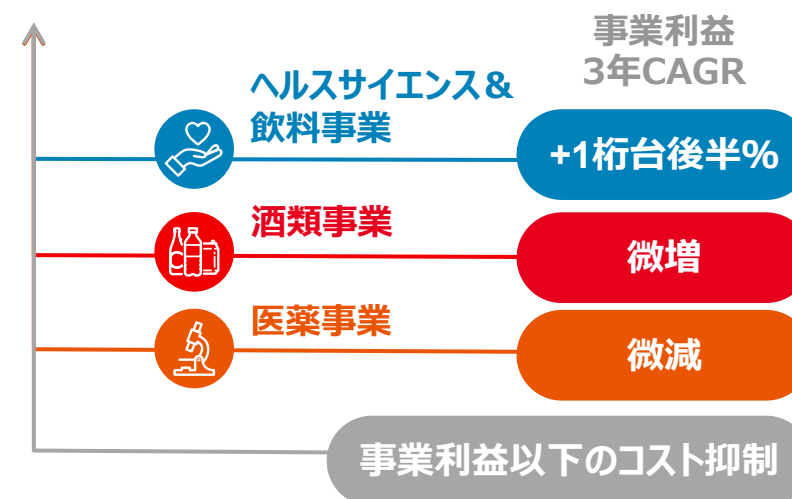
財務目標	2025年実績	2026年計画	2028年目標	長期目標
ROIC ROICは継続的に資本コスト (WACC) *を超える水準を目指す	7.6%**	7.7%	8.0% 以上	10% 以上
EPS より実質的な“稼ぐ力”を示すために、平準化しない「EPS」で設定	182円	193円*** (+6%)	3年CAGR +一桁台後半%**** (+6%以上)	CAGR +一桁台後半%

* 現時点のグループ全体のWACCは約6%

** (参考) ROEの2025年実績は12.0%

*** 2026年計画の193円は、2024年実績 (172円) に対して2年平均で+6%の水準を設定

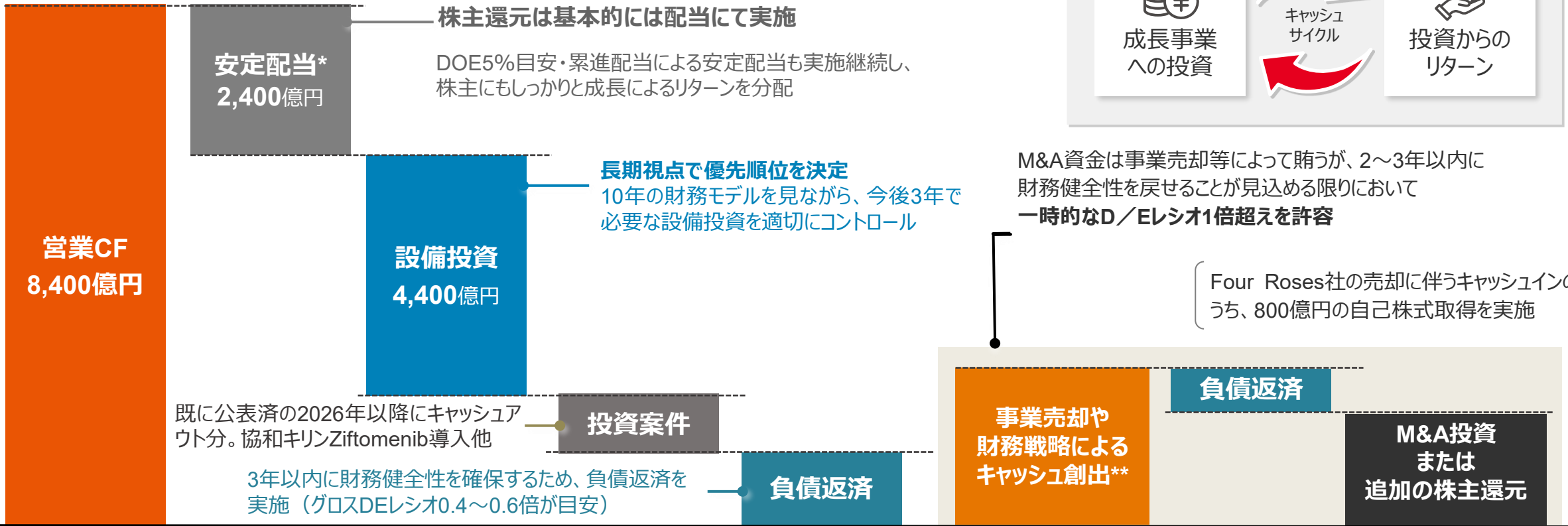
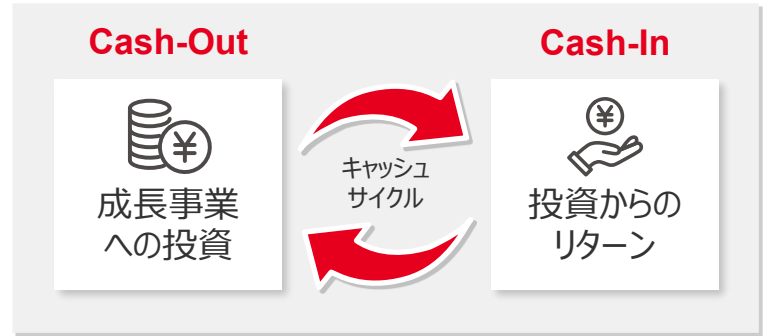
**** 2028年目標のEPS 3年CAGRの比較には、2025年のEPS公表目標値 (185円) を用いている



キャッシュアロケーション・投資規律と株主還元 (2026年～2028年)

➤ 数年後に次なる成長投資 (M&A) が可能となる財務健全性を確保するために、配当後の営業CFを設備投資や有利子負債返済に振り分けていく

人財、R&D、ICT、マーケティング強化のための投資をした上で、営業CFを向上



高 ← 優先順位 → 低

2028年 非財務目標一覧

項目	非財務指標	2026年目標	2028年目標
健康	グループのヘルスサイエンス商品を通じ与えた社会的インパクト ヘルスサイエンス関連商品のお客様へのリーチ人数	1億6,500万人	1億8,500万人
	グローバル品の主要国における上市状況（医領域）	製品・適応別上市国数	製品・適応別上市国数
環境	GHG排出量削減率 対2019年 Scope 1+2 排出量削減率	32%	41%
	水ストレスが高い製造拠点における用水使用原単位 Lion（豪州）（用水使用原単位 = 用水使用量 ÷ 生産量）	2.5 L/L未満	2.5 L/L未満
コミュニティ	事業会社のコミュニティ活動の達成度	7指標/9指標 達成	8指標/9指標 達成
R&D	①特許出願/②論文公表/③学会発表の数	非開示*	非開示*
	回避困難性特許の取得 （特許出願の内数として、中期目標を設定）	非開示*	非開示*
デジタル	個人・組織における業務プロセスのAI化・自動化による業務生産性の向上	15%	25%
人的資本	従業員エンゲージメントスコア エンゲージメント調査における「持続可能なエンゲージメント」	76	76
	LTIRスコア	2.25	1.75
	国内女性経営職比率 ※集計対象はキリンホールディングス社原籍社員	20%	26%

*知的財産に関連する内容等を含むため、具体的な構成指標と目標水準は戦略上非開示

CONTENTS

1 Our 3-year plan towards 2028 and The Financial Strategy to Drive It Forward / 2028年に向けた計画とそれを推進する財務戦略

- Financial Strategy / 財務戦略
 - Non-Financial Targets / 非財務目標
-

2 Corporate Data / コーポレートデータ

- Business Overview / 事業概要
 - Key Financial Data Trends/ 主要財務データ推移
 - Stock Information/ 株式情報
 - Corporate History / 企業沿革
-

3 Health Science business / ヘルスサイエンス事業

- Health Science Business / ヘルスサイエンス事業
- FANCL / ファンケル
- Blackmores/ ブラックモアズ
- 市場・自社データ/ Market & Company Data

4 Non-Alcoholic Beverages business / 飲料事業

- Kirin Beverage / キリンビバレッジ
 - Coke Northeast / コーク・ノースイースト
-

5 Alcoholic Beverages business / 酒類事業

- Kirin Brewery / キリンビール
 - Lion / ライオン
 - New Belgium Brewing / ニューベルジャン
 - San Miguel Brewery / サンミゲルビール
-

6 Pharmaceuticals business / 医薬事業

- Kyowa Kirin / 協和キリン



基礎情報

会社名

キリンホールディングス株式会社

設立年月日

1907年（明治40年）2月23日

資本金

1,020億円

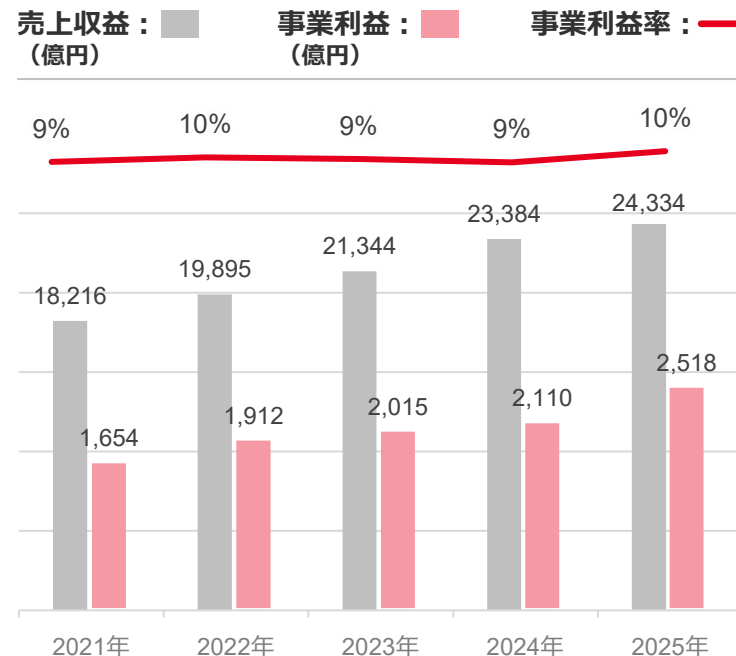
代表取締役

代表取締役会長CEO
磯崎 功典

代表取締役社長COO
南方 健志

売上収益・事業利益規模（2025年）

売上収益 2兆4,334億円
事業利益 2,518億円



決算期

12月

グループ会社数

連結子会社:172社
持分法適用関連会社:26社

本社所在地

東京都中野区中野4-10-2

従業員数（連結）

31,144人

全社_財務データ

よろこびがつなぐ世界へ



単位：百万円

主要財務データ 年度	JGAAP	IFRS									
	2015	2016(※10)	2017(※10)	2018(※10)	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上収益(※1)	2,196,925	1,853,937	1,863,730	1,930,522	1,941,305	1,849,545	1,821,570	1,989,468	2,134,393	2,338,385	2,433,363
うち酒税	305,697	296,029	289,433	294,028	292,153	276,932	285,600	284,435	279,508	286,886	278,623
純売上収益	1,891,227	1,557,909	1,574,296	1,636,494	1,649,151	1,572,613	1,535,969	1,705,033	1,854,885	2,051,499	1,158,003
事業利益(※2)	—	181,982	194,609	199,327	190,754	162,115	165,430	191,159	201,495	210,968	251,785
営業利益	124,751	196,590	211,000	198,322	87,727	102,919	68,084	116,019	150,294	125,340	209,677
のれん等償却前営業利益	158,537	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平準化EBITDA(※4)	258,922	257,612	272,301	279,907	272,619	243,959	245,879	277,695	293,039	309,012	358,927
経常利益	128,199	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する当期利益(※1)	-47,329	148,918	241,991	164,202	59,642	71,935	59,790	111,007	112,697	58,214	147,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,011	232,263	221,710	198,051	178,826	164,839	219,303	135,562	203,206	242,844	295,428
投資活動によるキャッシュ・フロー	-70,659	-82,656	63,214	47,389	-175,619	-115,981	-56,408	-10,399	-226,091	-329,375	-185,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	-78,221	-157,271	-182,163	-226,699	-9,997	-52,474	-180,463	-167,835	35,909	58,125	-110,524
年度末											
総資産	2,443,773	2,422,825	2,398,572	2,303,624	2,412,874	2,459,363	2,471,933	2,542,263	2,869,585	3,354,159	3,494,043
有利子負債	821,478	668,212	486,475	414,994	530,851	642,644	551,471	523,121	656,397	857,569	923,434
親会社の所有者に帰属する持分(※1)	663,842	695,860	947,162	906,578	906,576	838,584	894,179	980,022	1,132,581	1,181,525	1,286,991
1株当たり情報											
1株当たり当期利益 (EPS) (円)	-52	163	265	184	68	86	72	135	139	72	182
平準化EPS (円) (※6)	117	139	151	167	158	136	156	171	177	172	211
のれん等償却前EPS (円)	-2.83	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
配当金 (円)	38.00	39.00	46.00	51.00	64.00	65.00	65.00	69.00	71.00	71.00	71.00
財務指標											
ROE (%) (※7)	-0.3	22.2	29.5	17.7	6.6	8.2	6.9	11.8	10.7	5.0	12.0
ROIC (%) (※8)	—	10.8	16.3	12.0	5.2	6.0	4.2	8.5	8.0	4.1	7.6
のれん等償却前営業利益/純売上高 (%)	8.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
純有利子負債/平準化EBITDA (倍)	2.67	2.21	1.19	0.86	—	—	—	1.56	1.79	2.39	2.22
グロスDレシオ (倍)	—	—	—	0.46	0.59	0.77	0.62	0.53	0.58	0.73	0.72
連結配当性向 (%) (※9)	32.5	28.1	30.5	30.5	40.5	47.8	41.7	40.4	40.1	98.8	39.0

(※1) 売上収益、親会社の所有者に帰属する当期利益、親会社の所有者に帰属する持分について、2015年以前は日本基準の売上高、当期純利益、自己資本(純資産-非支配株主持分-新株予約権(連結貸借対照表での記載)の数値を表示しています。

(※2) 事業の経常的な業績を測る利益指標で、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して計算しています。

(※3) EBITDA=営業利益+持分法による投資損益+減価償却費+のれん償却額+特別損益(ただし、のれん等に関わる減損損失を除く)

(※4) 2015年以前:平準化EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+持分法適用関連会社からの受取配当金

2016年以降:事業利益+減価償却費及び償却費(2019年以降は使用権資産の償却費を除く)+持分法適用会社からの受取配当金

(※5) 2024年12月期有価証券報告書と同様、2019年度を起点とした株主総利回りを算出しています。

(※6) 平準化EPS=平準化当期利益(2015年以前は平準化当期純利益)/期中平均株式数

2015年以前:平準化当期純利益=当期純利益+のれん等償却額±税金等調整後特別損益

2016年以降:平準化当期利益=親会社の所有者に帰属する当期利益±税金等調整後その他の営業収益・費用等

(※7) 2015年以前のROEはのれん等償却前の数字であり、キャッシュの流出を伴わない損失等については除いた数値で算出しています。

(※8) ROIC=利払前税引後利益/(有利子負債の期首期末平均+資本合計の期首期末平均)

(※9) 2010年度からの配当性向はのれん等償却前EPSに対する数字であり、キャッシュの流出を伴わない損失等については除いた数値で算出しています。

2012年度からの連結配当性向は平準化EPSに対する数値を表示しています。

(※10) 企業結合で取得した無形資産に関する税効果について、2019年度に会計方針を変更したことに伴い、2016年度、2017年度及び2018年度の財務数値を遡及修正しています。

セグメント別_財務データ

単位：億円

年度		2024	2025	増減	%
連結売上収益		23,384	24,334	950	4.1%
酒類		10,817	10,753	-64	-0.6%
	麒麟ビール	6,627	6,655	28	0.4%
	Lion	2,947	2,835	-112	-3.8%
	うち豪州・NZ	2,030	1,957	-73	-3.6%
	うち北米クラフト他	917	878	-39	-4.2%
	Four Roses	274	260	-14	-5.2%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	969	1,002	34	3.5%
飲料		5,649	5,782	133	2.4%
	麒麟ビバレッジ	2,688	2,697	9	0.4%
	Coke Northeast	2,869	2,999	130	4.5%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	92	86	-6	-6.6%
医薬		4,953	4,965	12	0.2%
	協和麒麟	4,956	4,968	13	0.3%
	セグメント間取引消去	-3	-3	-0	-
ヘルスサイエンス		1,753	2,514	761	43.4%
	FANCL	345	1,126	781	226.4%
	Blackmores	691	702	10	1.5%
	協和発酵バイオ	502	468	-34	-6.8%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	215	219	4	2.0%
その他		213	320	108	50.6%

年度		2024	2025	増減	%
連結事業利益		2,110	2,518	408	19.3%
酒類		1,240	1,354	113	9.1%
	麒麟ビール	751	889	138	18.4%
	Lion	314	309	-4	-1.4%
	うち豪州・NZ	216	225	9	4.1%
	うち北米クラフト他	98	84	-13	-13.6%
	Four Roses	101	83	-18	-17.5%
	その他	75	72	-3	-3.7%
飲料		640	677	37	5.8%
	麒麟ビバレッジ	183	201	18	10.0%
	Coke Northeast	443	466	23	5.1%
	その他	14	10	-4	-28.7%
医薬		919	1,023	105	11.4%
	協和麒麟	919	1,023	105	11.4%
ヘルスサイエンス		-109	111	220	-
	FANCL	20	96	76	378.9%
	Blackmores	60	63	3	5.0%
	協和発酵バイオ	-140	2	142	-
	その他	-49	-50	-1	-
その他		0	-11	-11	-
全社費用・セグメント間消去		-580	-636	-55	-

株式の状況（2025年12月31日現在）

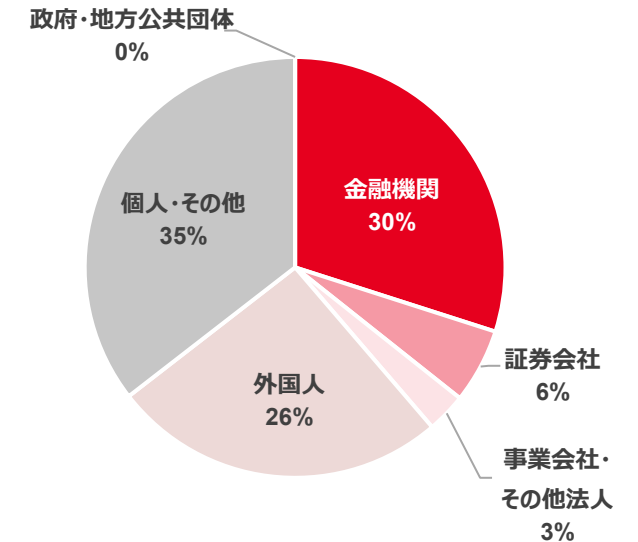
株式情報

1単元の株式数	100株
発行済み株式数	914,000,000株
株主数	494,081名

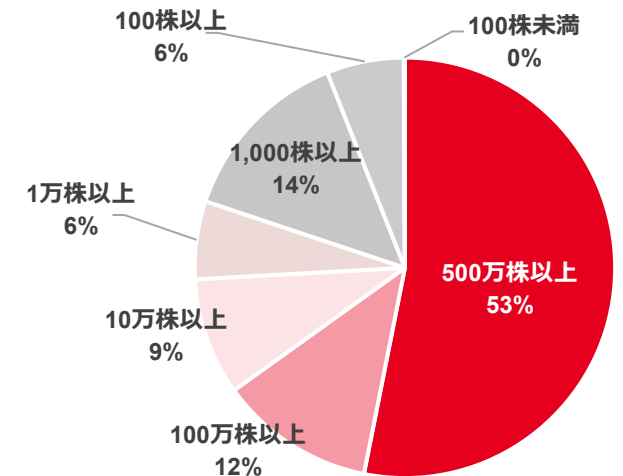
大株主

	所有株式数（千数）	持分比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	141,758	17.46
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	54,803	6.75
明治安田生命保険相互会社（常任代理人株式会社日本カストディ銀行）	31,346	3.86
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	25,279	3.11
SMBC日興証券株式会社	12,828	1.58
JP MORGAN CHASE BANK 385781	11,619	1.43
日本証券金融株式会社	10,578	1.30
JPモルガン証券株式会社	9,577	1.18
株式会社日本カストディ銀行（信託口4）	8,837	1.09
MOXLEY AND CO LLC	6,820	0.84

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



CONTENTS

1 Our 3-year plan towards 2028 and The Financial Strategy to Drive It Forward / 2028年に向けた計画とそれを推進する財務戦略

- Financial Strategy / 財務戦略
 - Non-Financial Targets / 非財務目標
-

2 Corporate Data / コーポレートデータ

- Business Overview / 事業概要
 - Key Financial Data Trends / 主要財務データ推移
 - Stock Information / 株式情報
 - Corporate History / 企業沿革
-

3 Health Science business / ヘルスサイエンス事業

- Health Science Business / ヘルスサイエンス事業
- FANCL / ファンケル
- Blackmores / ブラックモアズ
- 市場・自社データ / Market & Company Data

4 Non-Alcoholic Beverages business / 飲料事業

- Kirin Beverage / キリンビバレッジ
 - Coke Northeast / コーク・ノースイースト
-

5 Alcoholic Beverages business / 酒類事業

- Kirin Brewery / キリンビール
 - Lion / ライオン
 - New Belgium Brewing / ニューベルジャン
 - San Miguel Brewery / サンミゲルビール
-

6 Pharmaceuticals business / 医薬事業

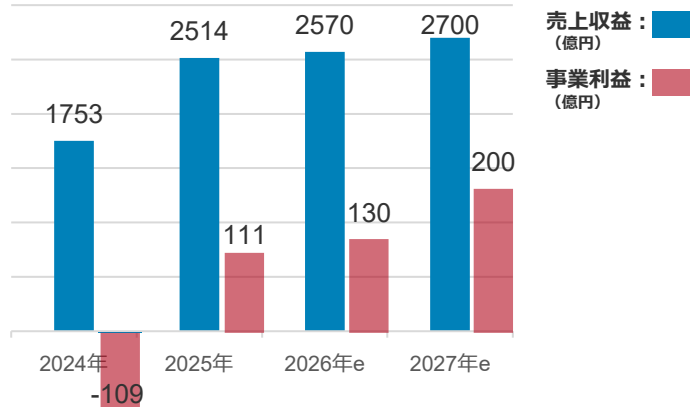
- Kyowa Kirin / 協和キリン

ヘルスサイエンス事業

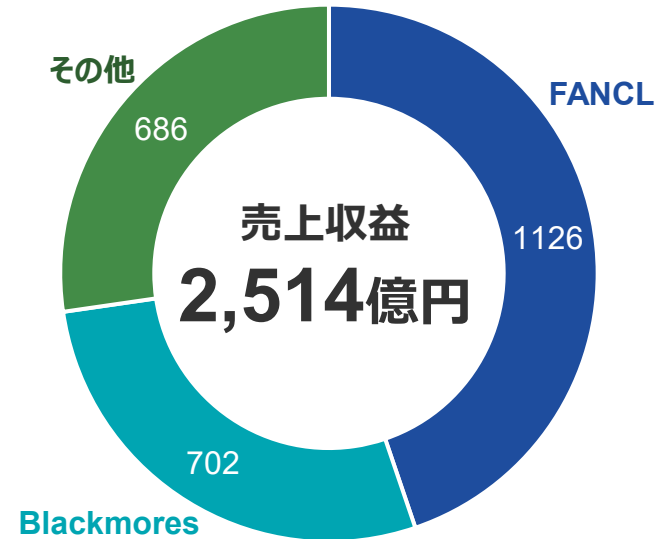
歴史

- 2010年：「乳酸菌L.ラクティス プラズマ（プラズマ乳酸菌）」を発見
- 2019年：事業の本格展開開始
協和発酵バイオを子会社化
FANCLと資本業務提携を締結
- 2023年：Blackmoresを完全子会社化
- 2024年：FANCLを完全子会社化
- 2025年：協和発酵バイオのアミノ酸事業等を譲渡

実績推移(億円)



事業会社構成比(2025年)



定量目標



売上収益

グループでの付加価値創出により
将来的に**5,000億円**規模を目指す



事業利益率

まずは2030年に10%以上を目指し、
将来的には**15%**を目指す



ROIC

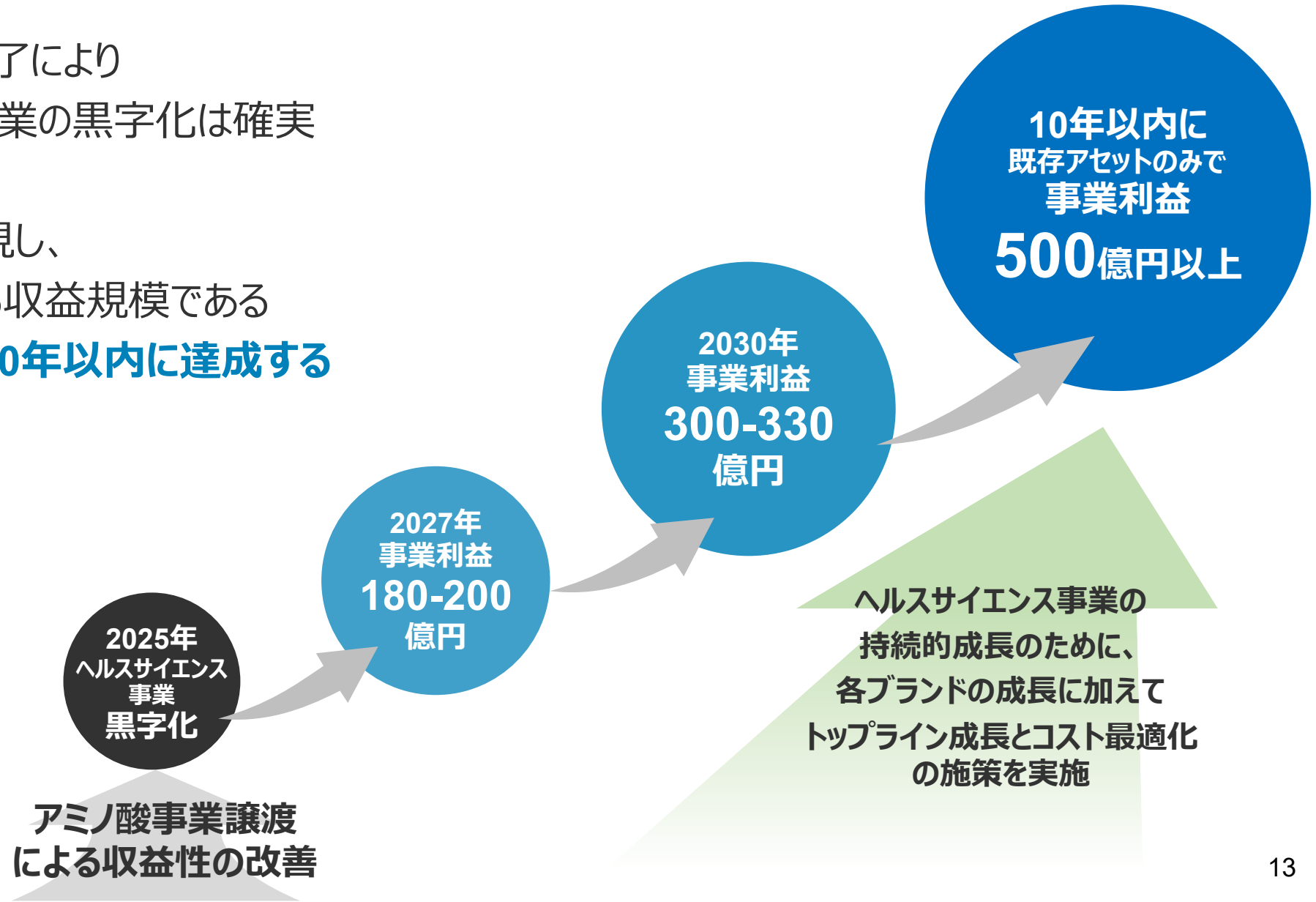
投資先行のフェーズから資本効率を高める
ステージに移行し、資本コスト（WACC）を
超えることを目指す

将来的に**10%**を実現する

ヘルスサイエンス事業で今後、達成する収益規模

アミノ酸事業の早期譲渡完了により
本年度のヘルスサイエンス事業の黒字化は確実

今後は持続的な成長を実現し、
グループの中で存在感がある収益規模である
事業利益500億円以上を10年以内に達成する



FANCL

基礎情報 (Basic Information)

事業内容

- BEAUTY／美の領域
 - 化粧品事業etc.
- HEALTH／健康の領域
 - サプリメント事業etc.

展開国

日本・中国等のアジアを中心に展開

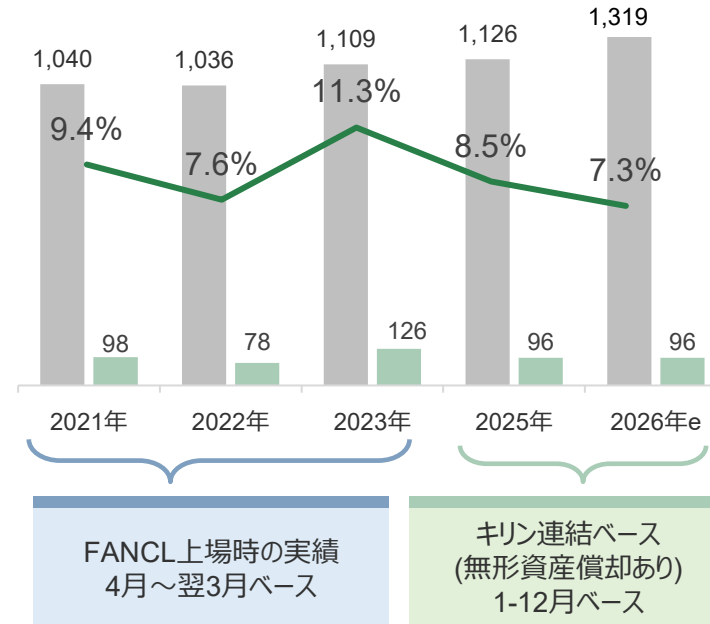
製造拠点

- 千葉工場 (化粧品・サプリメント)
- 横浜工場 (サプリメント)
- 三島工場 (サプリメント)
- 滋賀工場 (化粧品)
- 群馬工場 (化粧品)
- 長野工場 (発芽米)

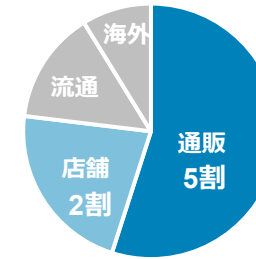
売上収益・事業利益規模 (2025年)

売上収益 1,126億円
 事業利益 96億円 (無形資産償却費控除後)

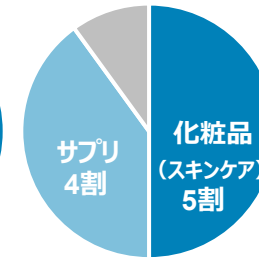
実績推移 (億円)



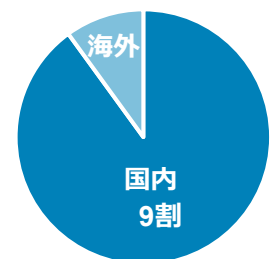
販売チャネル【売上】



事業【売上】



地域別【売上】



歴史

- 1981年 設立
- 1994年 サプリメントの通信販売を開始
- 2019年 キリンと資本業務提携を締結
- 2025年 完全子会社化

主な製品



FANCL / Blackmores__売上収益・事業利益推移

FANCL

単位：億円

主要財務データ	JGAAP					
	2018	2019	2020	2021*	2022*	2023*
売上収益	1,225	1,268	1,149	1,040	1,036	1,109
スキンケア事業	716	759	651	588	574	612
サプリメント事業	439	440	412	385	399	437
営業利益	124	141	116	98	78	126
営業利益率	10.1%	11.1%	10.1%	9.4%	7.6%	11.3%

* 2021年度実績から「収益認識に関する会計基準」等を適用

主要財務データ	IFRS	
	2024	2025
売上収益	345	1,126
スキンケア事業	181	615
サプリメント事業	145	448
事業利益	20	96
事業利益率	5.8%	8.5

※2018～2023年度は4-3月(FANCL上場時)、2024年度のみ10-12月
 ※FANCLの連結化は2024年10月より
 ※連結後の事業利益は無形資産償却費控除後

Blackmores

単位：million AUD

主要財務データ	IFRS				
	2018	2019	2020	2021	2022
売上収益	601	589	568	576	650
豪州・NZ	266	267	227	281	288
東南アジア・韓国	82	107	139	164	216
中国	143	122	103	132	146
EBIT	102	77	29	46	56
EBIT Margin	17.0%	13.1%	5.1%	7.9%	8.6%

主要財務データ	IFRS		
	2023	2024	2025
売上収益	334	690	726
豪州・NZ	—	312	324
東南アジア・韓国	—	176	196
中国	—	195	204
事業利益	-5	60	65
事業利益率	—	8.7%	8.8%

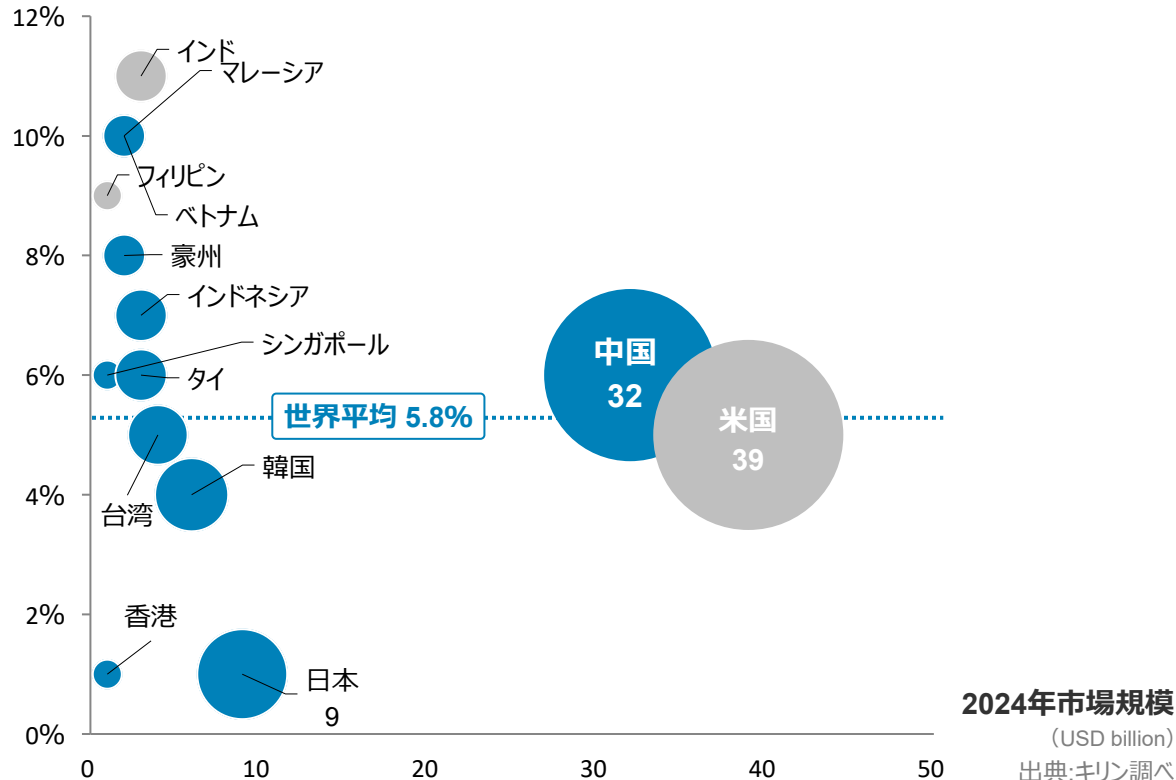
※Blackmoresの連結化は2023年7月より
 ※2018～2022年は7-6月、豪州IFRSを適用
 ※連結後の事業利益は無形資産償却費控除後



▶ サプリメント市場は、各国・各地域で継続的な成長を遂げ、世界全体としても拡大傾向にある。キリングroupはすでにAPACの主要国で事業を展開しており、日本市場は今後も安定した成長が見込まれる。今後の成長ドライバーは、市場規模が大きい中国と、高い成長率が期待される東南アジア。

【VDS*】市場規模と5年CAGR

24→29年CAGR



2024年市場規模 (USD billion)

出典:キリン調べ

※為替は最新年の固定レートを使用

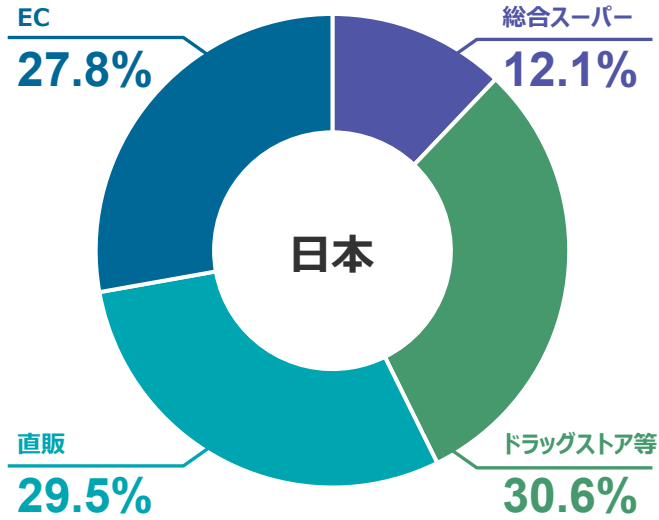
※円の大きさは市場規模 ※青色：展開済国、灰色：未展開国

* VDS : ビタミン剤健康食品、サプリメント、栄養ドリンクトニックを含む

主な展開エリア概要

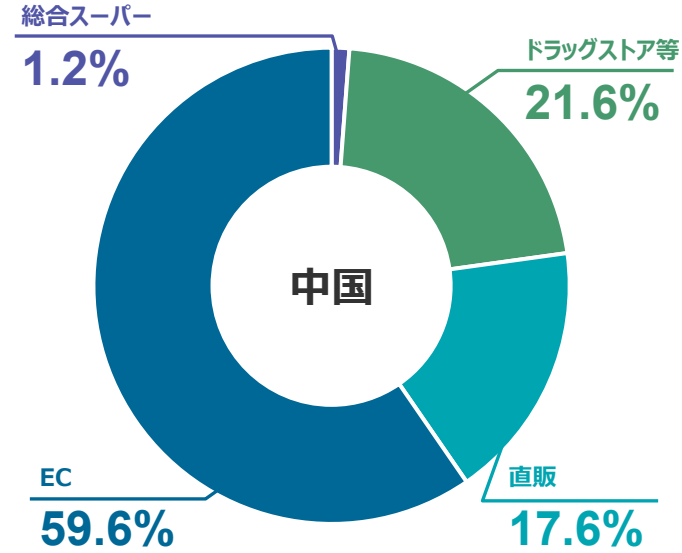
※市場展開のストーリー順

日本	<p>高齢化とコロナ後の健康志向の高まりにより、サプリメント市場は緩やかに拡大傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常的な免疫ケアやプロテイン・美容用途の需要も増加 ● 過去の品質問題や健康ニーズの一巡を背景に、確かな品質を求める需要が高まっている。効能や成分価値の訴求強化と、機能性表示食品への信頼回復が重要となってきている。
豪州	<p>インフレで消費環境が厳しい中でも、市場は堅調な成長を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常的にサプリメントを摂取する習慣が定着しており、特に免疫維持で信頼性の高い製品が求められている ● 高齢化が進んでおり、関節ケア、骨健康維持など加齢に伴う健康ニーズが高く、その対策としてサプリメントを利用する人が増えている。
中国	<p>圧倒的な市場規模と都市部中間層の拡大を背景に成長が続く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若年層を中心に健康意識が高まり、ビタミンなどの栄養補助食品から伝統的な健康食品まで幅広いカテゴリで需要が旺盛 ● ECチャネルの急伸で全国どこでも多様な製品が入手可能となり、規制緩和による海外ブランド流通拡大も市場成長を加速している
東南アジア	<p>健康意識の高まりと経済成長に支えられ、市場は急成長中</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健康意識の高まりと経済成長が市場を支えている。 ● 特に栄養素補給や免疫対策製品が人気だが、国によって異なる需要や法規制に合わせて商品ポートフォリオや剤型の提供が必要



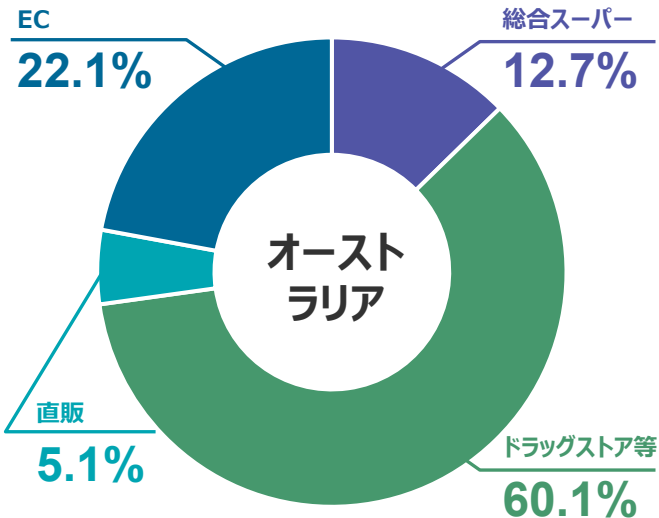
特徴

- チャンネルがかなり分散している成熟市場
- 近年、ECチャンネルの成長が顕著である一方、競争環境は一層激化している。今後は、CRMの強化によって顧客単価や継続率を向上させることが鍵となる



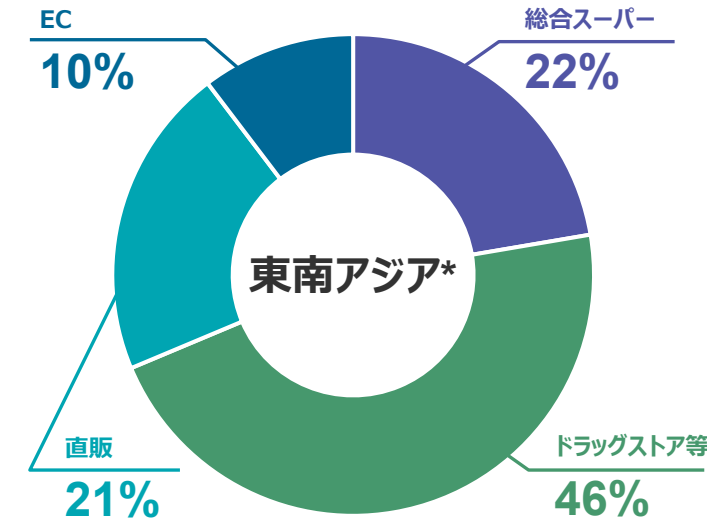
特徴

- 完全にEC主導（Tmall等）の市場
- ECの中でもライブコマース、KOL/KOC活用が影響力が大きく、ドラッグストアなどのオフラインは縮小傾向



特徴

- ドラッグストアが圧倒的に大きい
- 薬剤師・専門性チャンネルが強い
- “健康=ドラッグストアで買う”文化がある
- ECのチャンネルはまだ22%程度ではあるが伸びしろはある

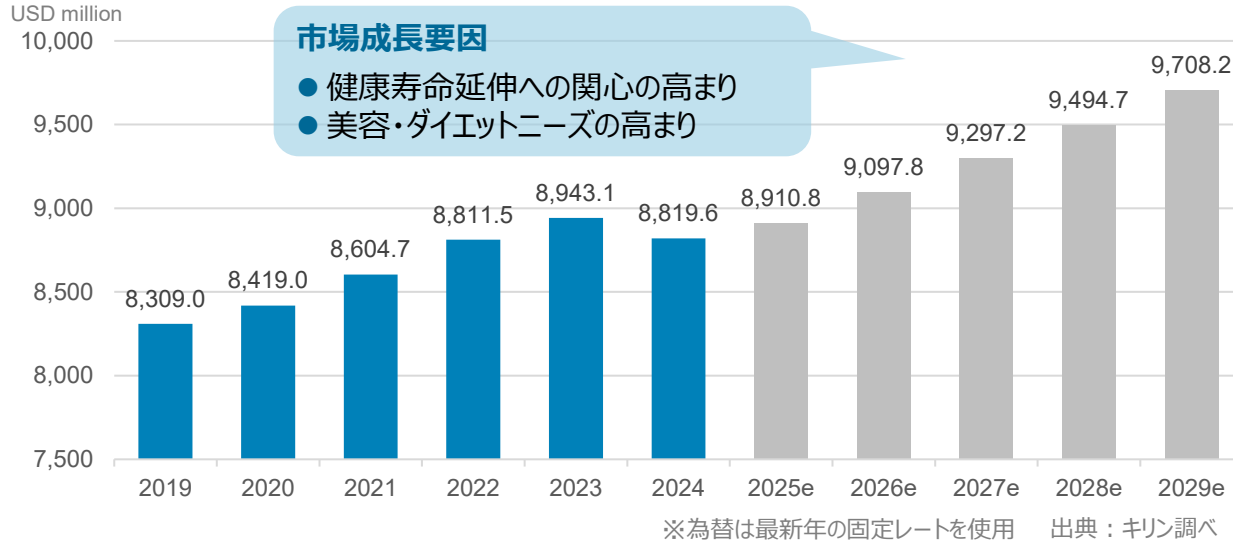


特徴

- オフライン流通が主戦場
- サプリメントは生活導線の中で買われることが多い
- ECはまだ小さいがこれから伸びる余地はあり



日本 VDS 市場推移



企業別売上シェア

(2019年)

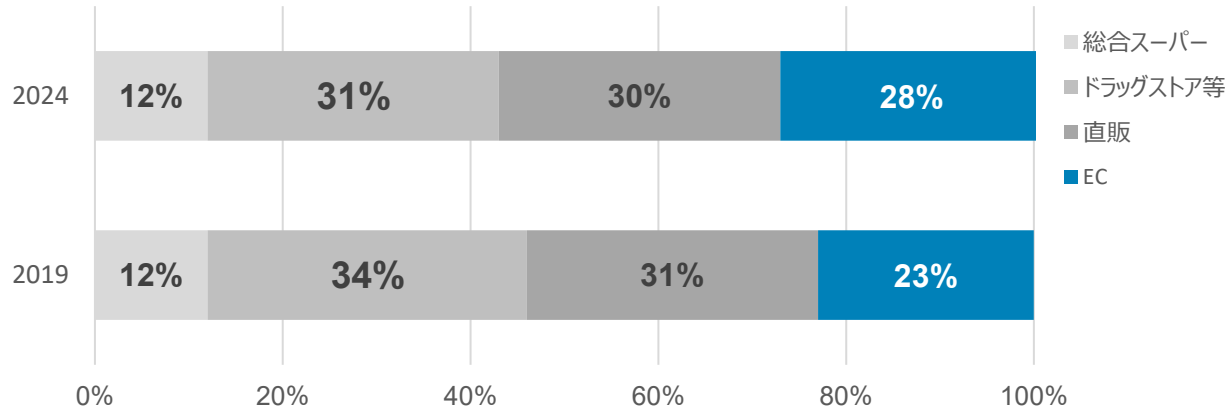
位	メーカー
1	競合A
2	競合B
3	ファンケル
4	競合C
5	競合D

(2024年)

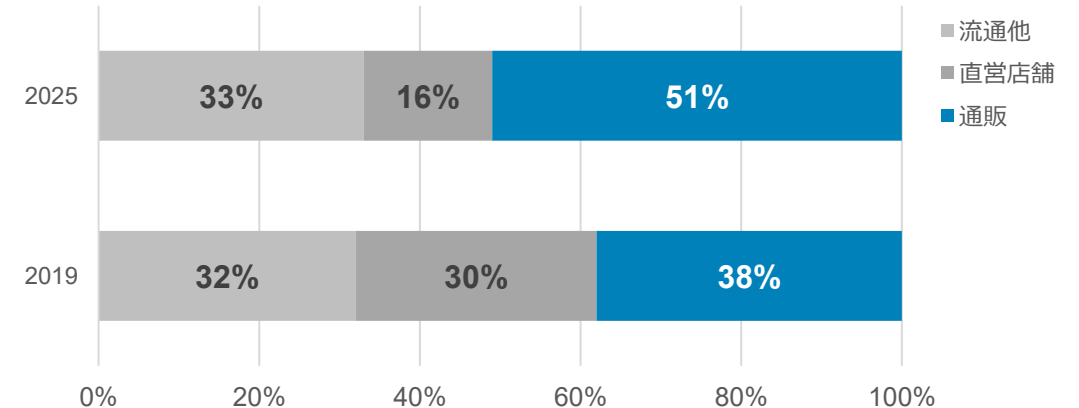
位	メーカー
1	競合A
2	競合B
3	ファンケル
4	競合C
5	競合D

出典：富士経済HBフーズマーケティング便覧2025

市場 販売チャネル構成比

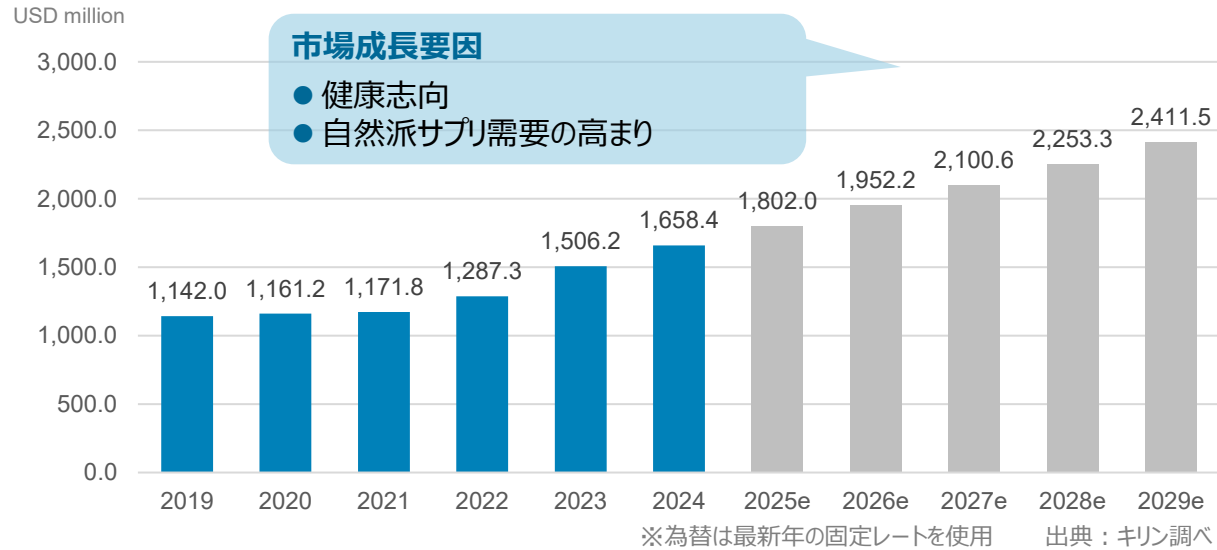


FANCL 販売チャネル構成比





豪州 VDS 市場推移



企業別売上シェア

(2019年)

位	メーカー
1	Blackmores Ltd
2	競合A
3	競合B
4	競合C
5	競合D

(2023年)

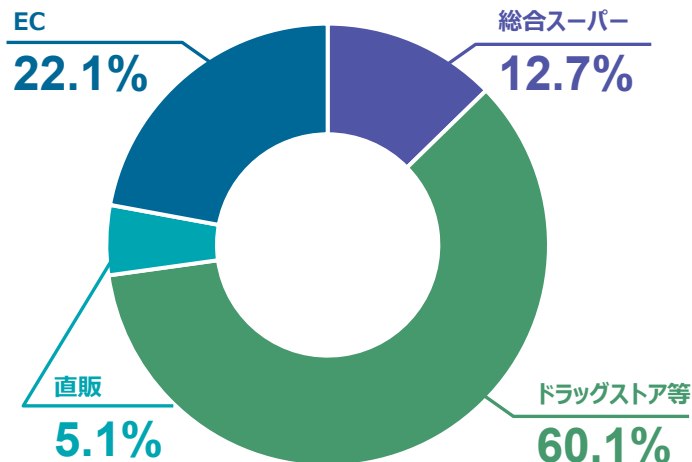
位	メーカー
1	Blackmores Ltd
2	競合A
3	競合B
4	競合C
5	競合D

出典：キリン調べ

売り場イメージ

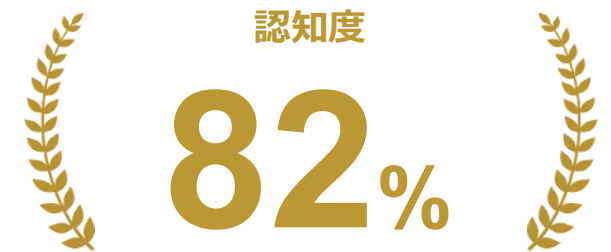


市場チャネル構成比



認知度 (2024年)

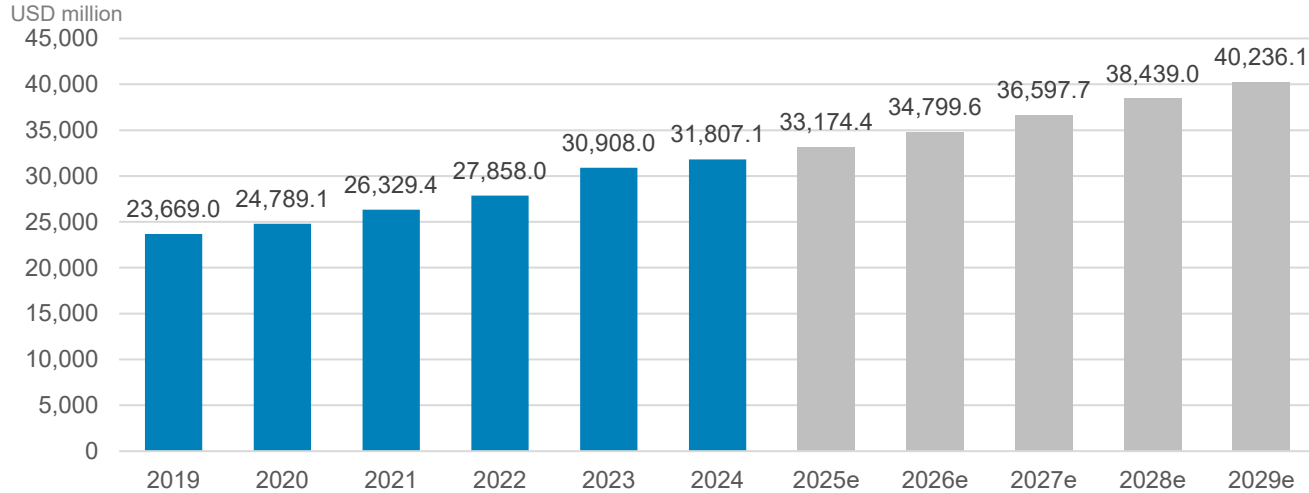
トップブランドとして高い認知を維持



出典：APAC Brand Health Study 2024



中国 VDS 市場推移



市場成長要因

- 健康志向の高まり (特に若年層)
- 中間層の可処分所得の増加
- ECチャネルの発展
- 政府の規制緩和

※為替は最新年の固定レートを使用 出典：キリン調べ

展開先 (2023年)

	FANCL	Blackmores
展開済のチャネル	越境EC	越境EC WOFE EXPORT
越境ECでのシェア	8位	3位

出典：APAC Brand Health Study 2023

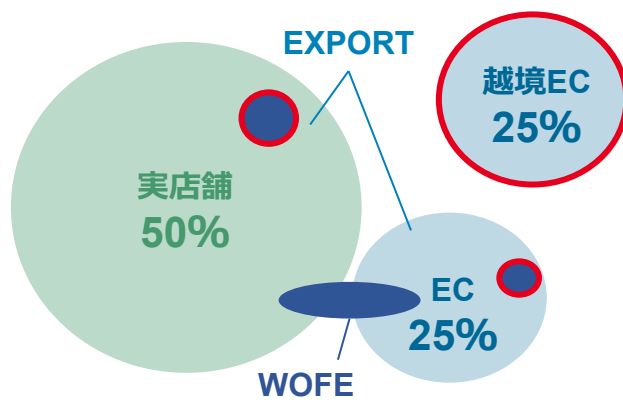
認知度 (2025年)



出典：キリン調べ

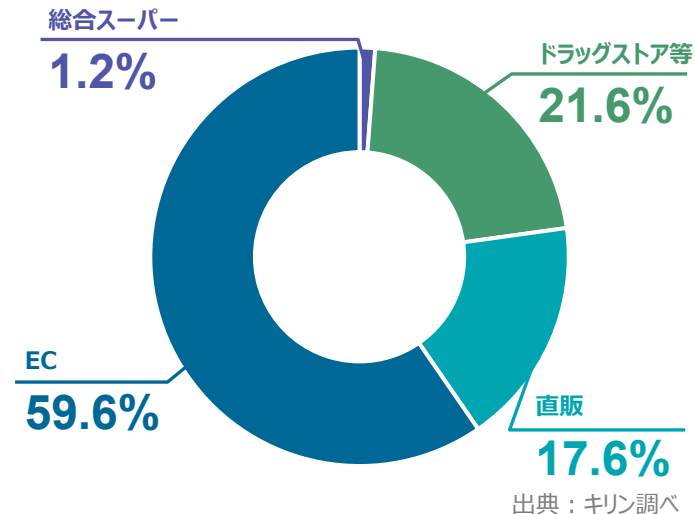
市場規模と現在の展開先 概念図

市場全体規模： 31,807m USD(2024年)



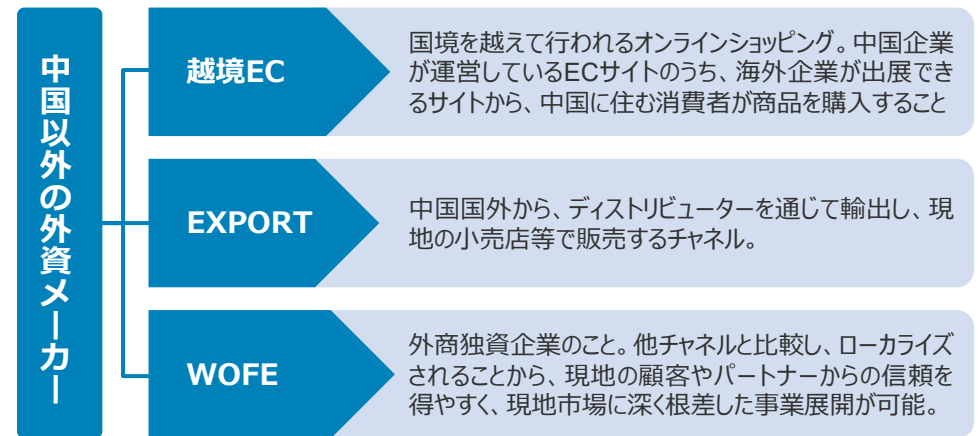
※赤枠はキリンHD展開済 出典：キリン調べ

市場チャネル構成比



出典：キリン調べ

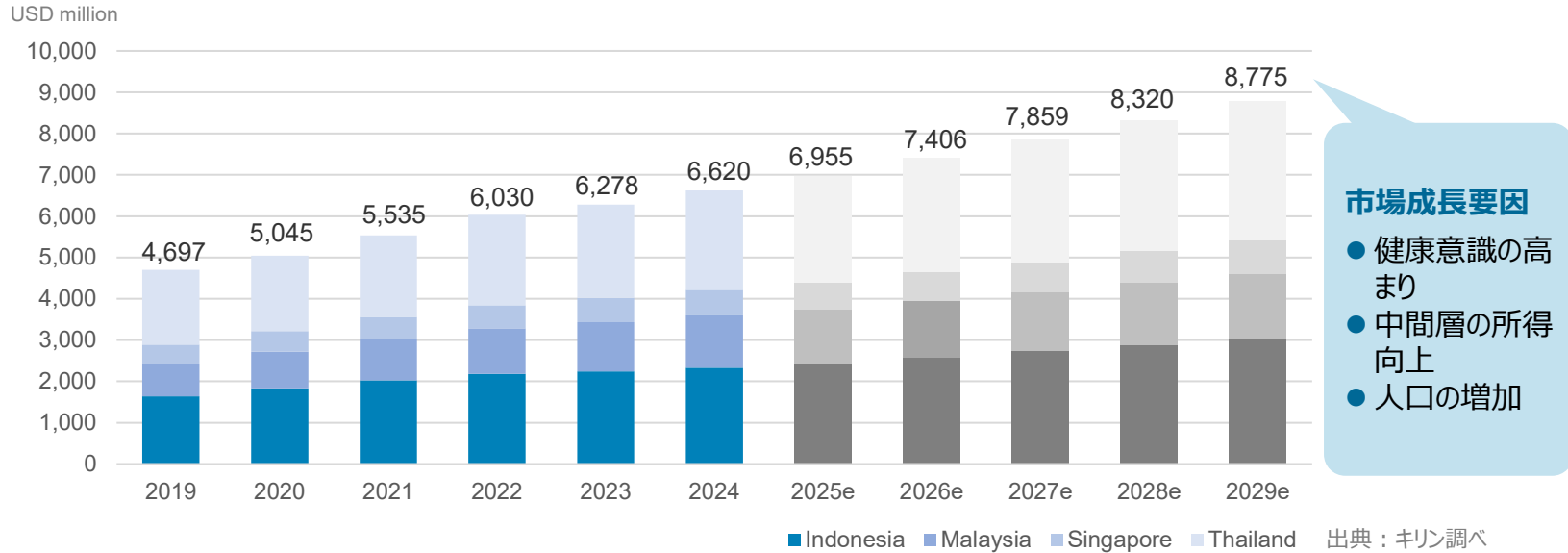
中国 チャネル構造



※Blackmoresは直営店舗は持っておらず、量販あるいはオンラインでの販売のみ



東南アジア VDS 市場推移



市場成長要因

- 健康意識の高まり
- 中間層の所得向上
- 人口の増加

Blackmores 認知度 (2024年)



※一般的に60%以上が高水準とされる市場の中で、当社ブランドは66%以上と高い認知度を維持している

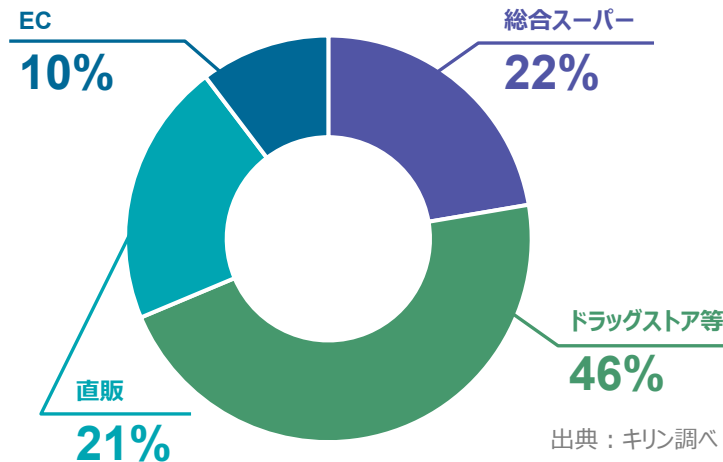
出典：APAC Brand Health Study 2024

東南アジア VDS 市場の成長率(CAGR)推移(2019年-2024年)

市場*	成長率(CAGR)
インドネシア	7%
マレーシア	10%
タイ	6%

出典：*キリン調べ

市場チャネル構成比



出典：キリン調べ

主要国でのBlackmoresのシェア

主要国	2023年
インドネシア	3位
マレーシア	1位
タイ	1位

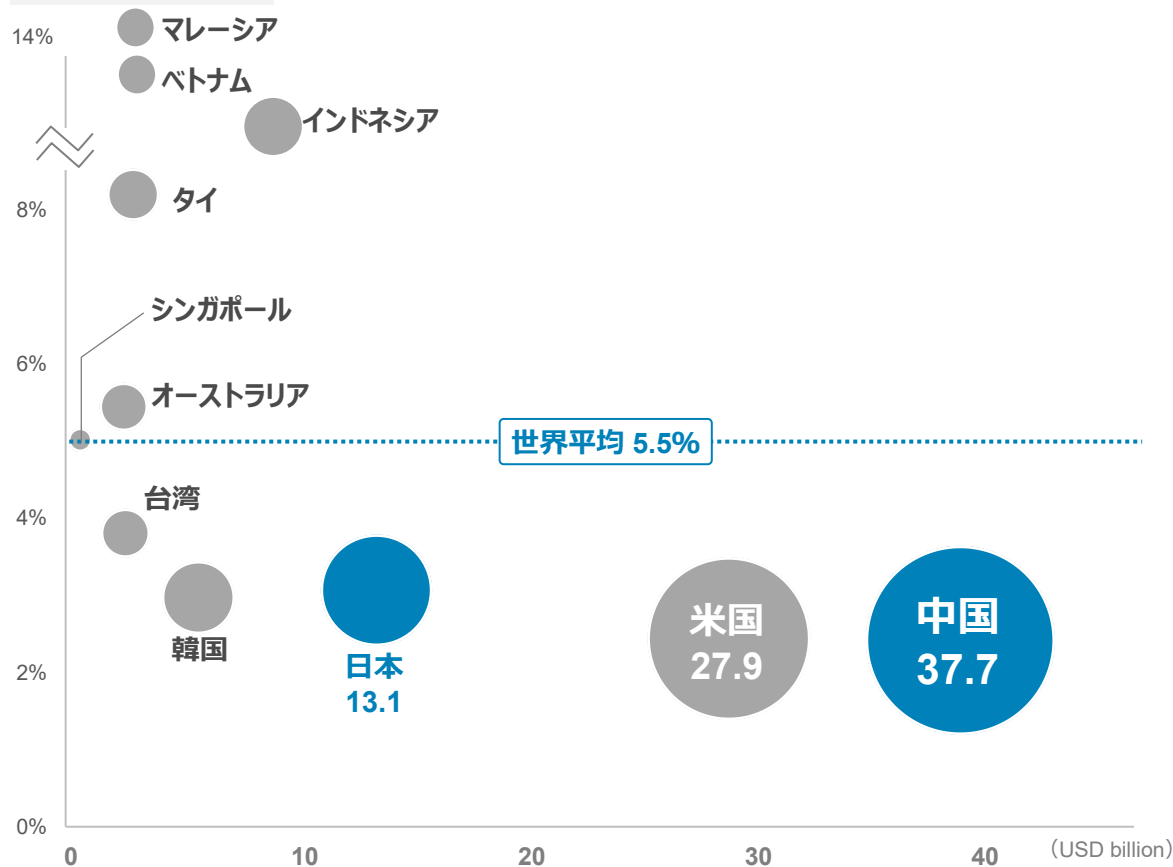
出典：APAC Brand Health Study 2023



➤ スキンケア市場は世界的に拡大を続けており、今後も高成長が見込まれる。市場成長の背景には、エイジングケア需要の拡大やユーザーの多様化があるが、要因は国や地域によって異なる特性を持つ。日本と中国は市場規模が大きく、今後も安定的な成長が期待される。一方、成長余地が最も大きいのは東南アジアであり、キリンとしてもこの成長市場への展開を順次進める方針。

【スキンケア*】 市場規模と5カ年CAGR

24→29年CAGR



※丸の大きさは市場規模を示す

2024年市場規模

主な展開エリア概要

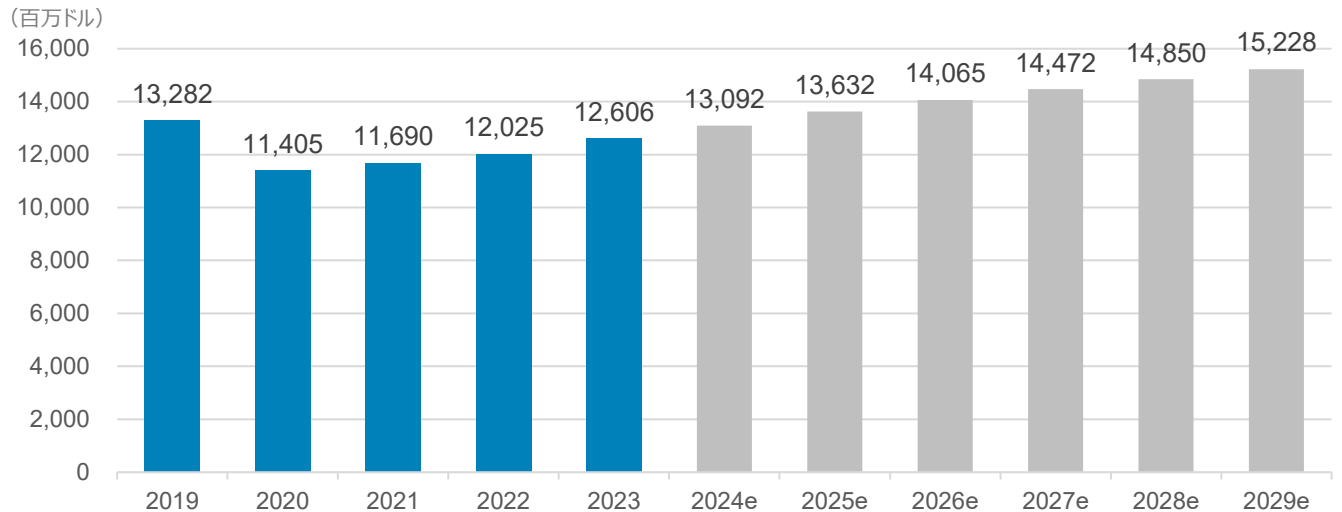
日本	<p>需要回復と高付加価値志向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インバウンド需要の回復や外出機会の増加で市場が成長。 ● 高齢化社会であり、それゆえにエイジングケア需要が根強く、それらが市場を安定成長させる要因となっている
中国	<p>圧倒的な市場規模で成長を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市場は世界第1位の規模 ● 美容への関心が高いZ世代を中心に、スキンケアは生活必需品かつ自己投資と見なされ、市場を底支えしている
東南アジア	<p>若年人口とデジタル化による急成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市場はスキンケアやメイクアップ製品が人気で、特に自然派成分やオーガニック製品が好まれている ● オンライン販売チャンネルの成長が市場を後押ししており、ASEAN地域全体での経済成長も市場拡大に寄与している。
豪州	<p>敏感肌志向 + 内外美容提案が市場を押し上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性の約半数が敏感肌を自認し、バリア機能強化や科学的根拠を重視する傾向が強まっている。 ● Chemist Warehouseなど薬局を中心に、スキンケアとビューティーサブリを組み合わせた「内外美容」提案が進展。SNSや専門家推奨を活用した購買行動が市場成長を後押し。

*スキンケア：フェイシャルケア、ボディケア、ハンドケア、スキンケアセット/キッズを含む

出典:キリン調べ



スキンケア市場規模



出典：キリン調べ

市場成長要因

- 男性スキンケア市場の伸び
- アンチエイジング市場の伸び

スキンケア ブランド別市場シェア

(2019年)

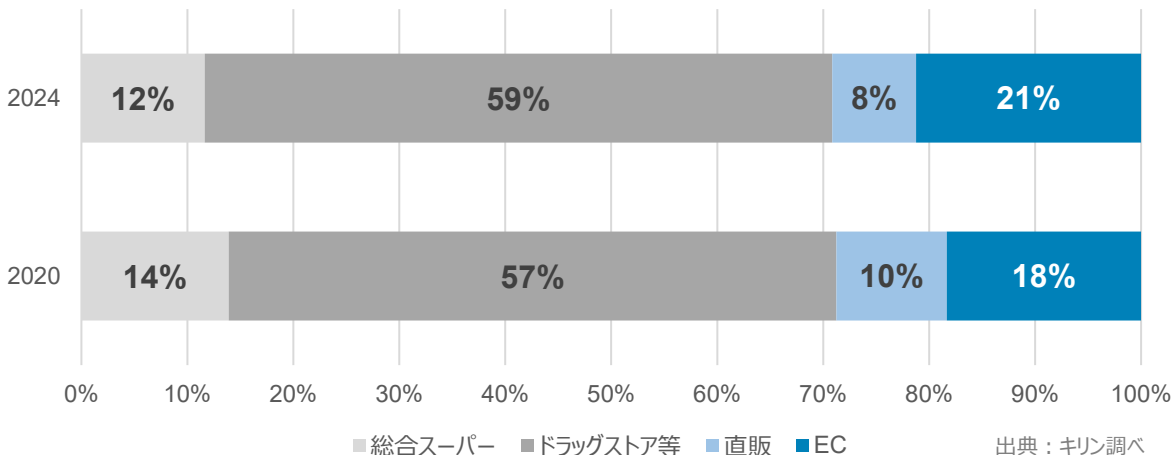
位	ブランドシェア
1	競合A
2	競合B
3	ファンケル
4	競合C
5	競合D

(2023年)

位	ブランドシェア
1	競合A
2	競合B
3	ファンケル
4	競合C
5	競合D

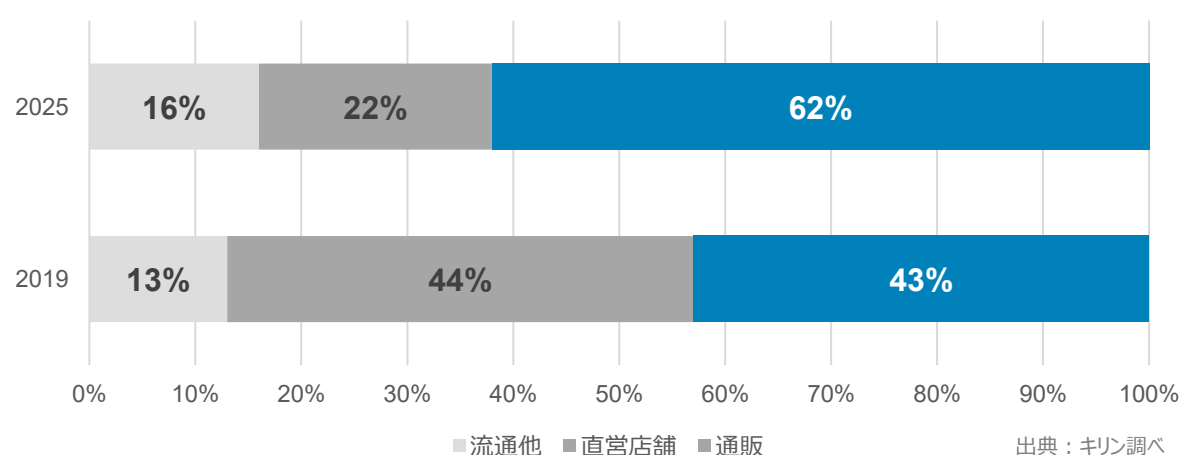
出典：富士経済HBフーズマーケティング便覧2025

市場チャネル構成比(2020年-2024年)



出典：キリン調べ

FANCLチャネル構成比



出典：キリン調べ

CONTENTS

1 Our 3-year plan towards 2028 and The Financial Strategy to Drive It Forward / 2028年に向けた計画とそれを推進する財務戦略

- Financial Strategy / 財務戦略
 - Non-Financial Targets / 非財務目標
-

2 Corporate Data / コーポレートデータ

- Business Overview / 事業概要
 - Key Financial Data Trends/ 主要財務データ推移
 - Stock Information/ 株式情報
 - Corporate History / 企業沿革
-

3 Health Science business / ヘルスサイエンス事業

- Health Science Business / ヘルスサイエンス事業
- FANCL / ファンケル
- Blackmores/ ブラックモアズ
- 市場・自社データ/ Market & Company Data

4 Non-Alcoholic Beverages business / 飲料事業

- Kirin Beverage / キリンビバレッジ
 - Coke Northeast / コーク・ノースイースト
-

5 Alcoholic Beverages business / 酒類事業

- Kirin Brewery / キリンビール
 - Lion / ライオン
 - New Belgium Brewing / ニューベルジャン
 - San Miguel Brewery / サンミゲルビール
-

6 Pharmaceuticals business / 医薬事業

- Kyowa Kirin / 協和キリン

キリンビバレッジ

基礎情報 (Basic Information)

会社名

キリンビバレッジ株式会社

事業内容

清涼飲料の製造および販売

展開国

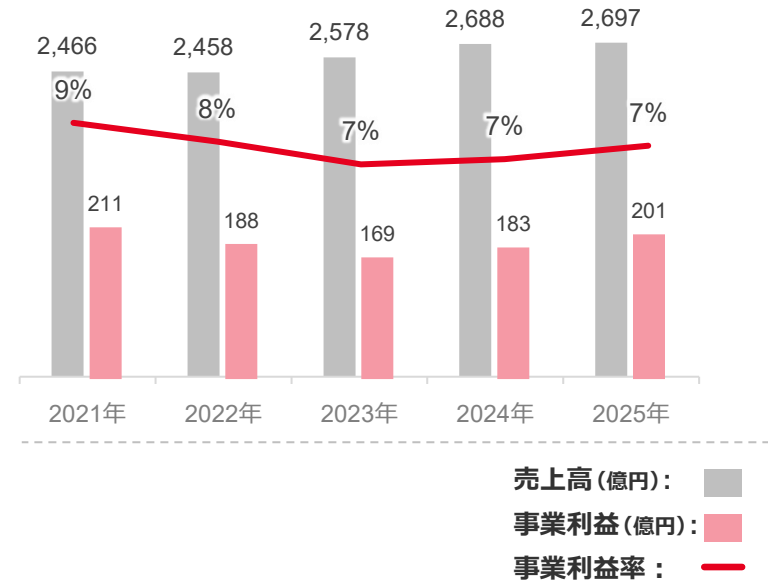
日本

製造拠点

湘南工場
滋賀工場

売上収益・事業利益規模 (2025年)

売上収益：2,697億円
事業利益：201億円



歴史

- 1963年 自動販売サービス株式会社 (現・キリンビバレッジ株式会社) 設立
- 1986年 「キリン午後の紅茶」発売
- 2000年 「キリン生茶」発売
- 2017年 「キリンiMuse」発売
- 2023年 「おいしい免疫ケア」発売

主な製品

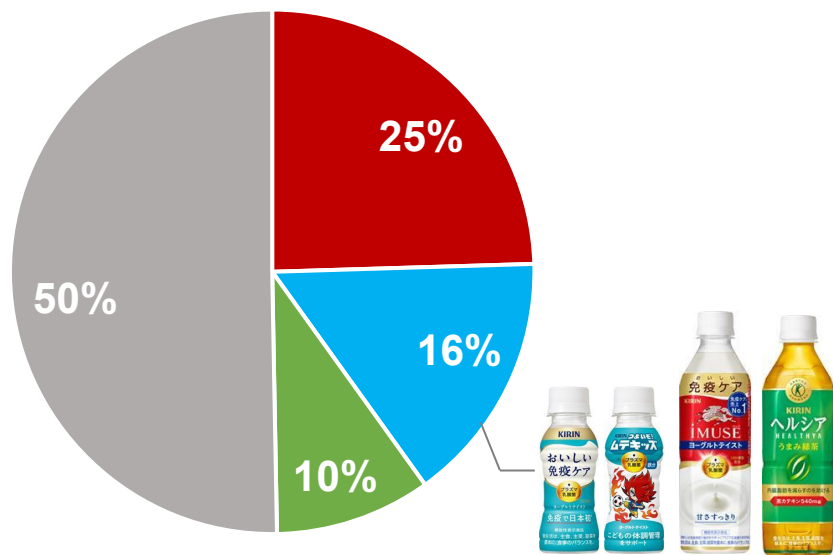


キリンバレッジ_売上収益・事業利益推移

単位：億円

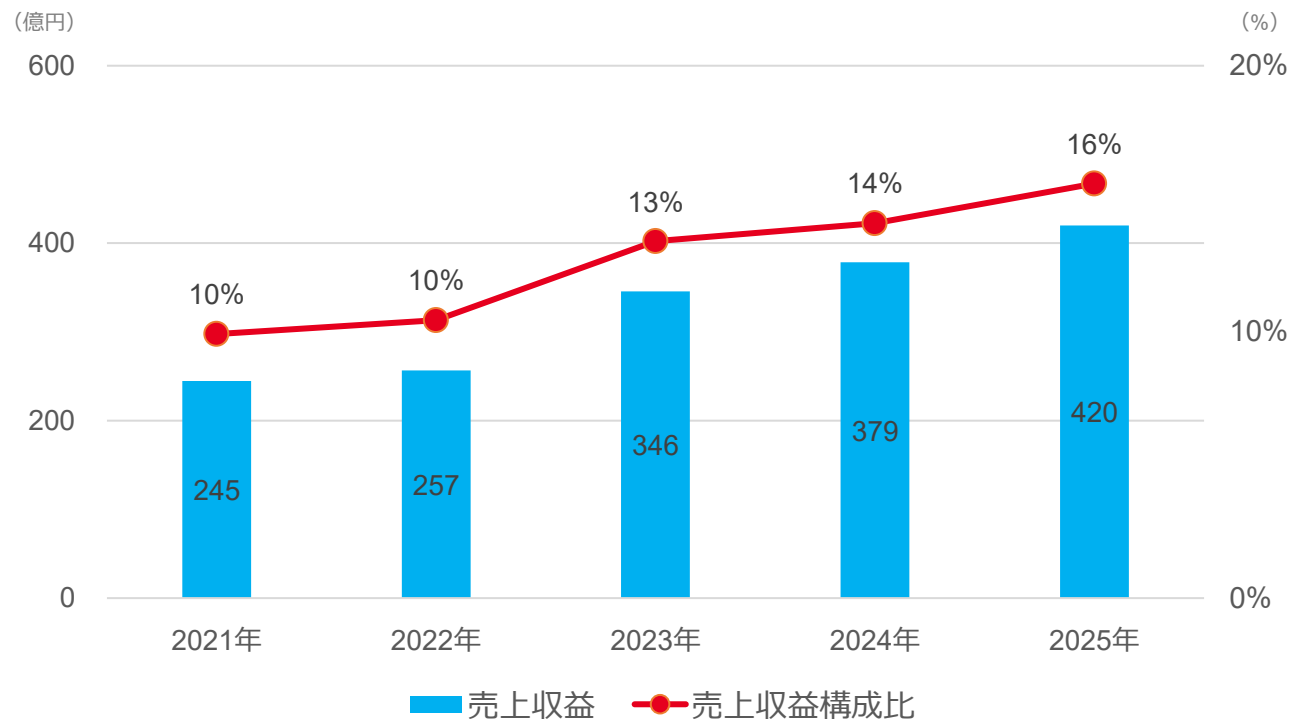
主要財務データ	IFRS									
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上収益	3,546	2,857	2,848	2,888	2,542	2,466	2,458	2,578	2,688	2,697
ヘルスサイエンス飲料	—	—	—	—	—	245	257	346	379	420
事業利益	172	217	233	264	218	211	188	169	183	201
事業利益率	4.9%	7.6%	8.2%	9.1%	8.6%	8.6%	7.6%	6.6%	6.8%	7.4%

カテゴリ別 売上収益構成比 (2025年)



■ 午後の紅茶 ■ ヘルスサイエンス飲料 ■ 生茶 ■ その他

ヘルスサイエンス飲料の実績





基礎情報 (Basic Information)

会社名

Coca-Cola Beverages Northeast, Inc.

事業内容

北米コカ・コーラ社のボトリング事業

展開国

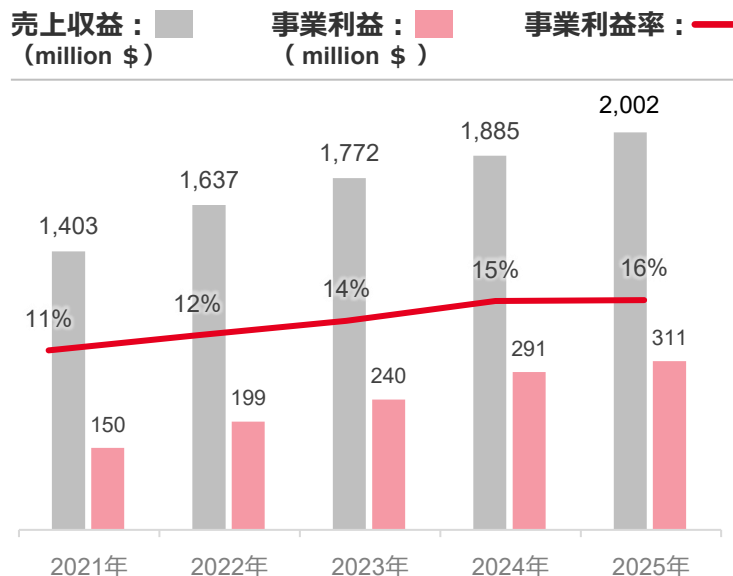
北米
北東部8州に跨るテリトリー展開

拠点

製造工場：2か所
セールスセンター：16か所

売上収益・事業利益規模 (2025年)

売上収益 US \$ 2,002m
事業利益 US \$ 311m



歴史

1977年に合併会社設立によりボトラー事業に進出。その後100%化。
2017年にテリトリー拡大により現在に至る

主な製品



Coca-Cola Beverages Northeast, Inc. 売上収益・事業利益推移



単位：million US\$

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上収益	1,193	1,213	1,216	1,403	1,637	1,772	1,885	2,002
事業利益	26	48	87	150	199	240	291	311
事業利益率	2.2%	4.0%	7.2%	10.7%	12.2%	13.6%	15.4%	15.5%

※Coke Northeastは2018年より開示

炭酸飲料/非炭酸飲料 箱数比率



1 Our 3-year plan towards 2028 and The Financial Strategy to Drive It Forward / 2028年に向けた計画とそれを推進する財務戦略

- Financial Strategy / 財務戦略
 - Non-Financial Targets / 非財務目標
-

2 Corporate Data / コーポレートデータ

- Business Overview / 事業概要
 - Key Financial Data Trends/ 主要財務データ推移
 - Stock Information/ 株式情報
 - Corporate History / 企業沿革
-

3 Health Science business / ヘルスサイエンス事業

- Health Science Business / ヘルスサイエンス事業
- FANCL / ファンケル
- Blackmores/ ブラックモアズ
- 市場・自社データ/ Market & Company Data

4 Non-Alcoholic Beverages business / 飲料事業

- Kirin Beverage / キリンビバレッジ
 - Coke Northeast / コーク・ノースイースト
-

5 Alcoholic Beverages business / 酒類事業

- Kirin Brewery / キリンビール
 - Lion / ライオン
 - New Belgium Brewing / ニューベルジャン
 - San Miguel Brewery / サンミゲルビール
-

6 Pharmaceuticals business / 医薬事業

- Kyowa Kirin / 協和キリン

キリンビール

基礎情報 (Basic Information)

会社名

キリンビール株式会社

事業内容

ビール・スピリッツの製造および販売

展開国

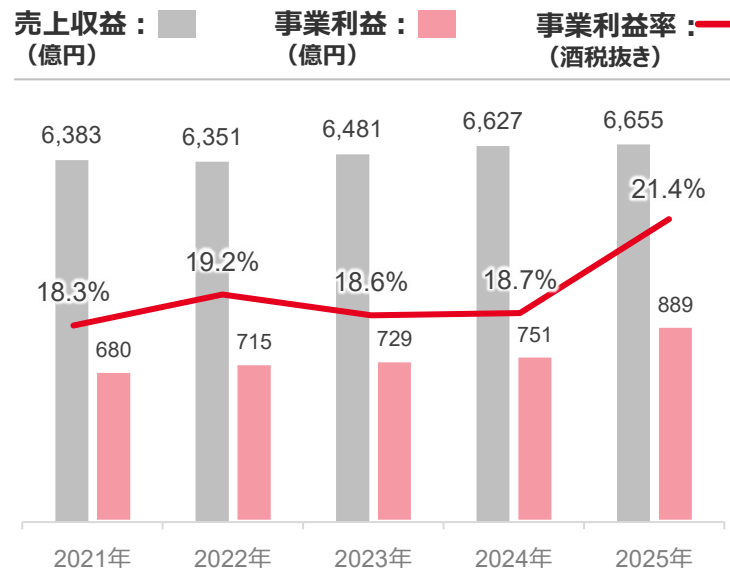
日本含む世界約40カ国

製造拠点

全国9工場 (千歳 / 仙台 / 取手 / 横浜 / 名古屋 / 滋賀 / 神戸 / 岡山 / 福岡)
富士御殿場蒸溜所

売上収益・事業利益規模 (2025年)

売上収益 6,655億円
事業利益規模 889億円



歴史

- 1885年 麒麟麦酒株式会社の前身、
ジャパン・ブルワリー・カンパニー
設立
- 1907年 麒麟麦酒株式会社創立
- 1990年 キリン一番搾り生ビール発売
- 2018年 本麒麟発売
- 2021年 Spring Valley 豊潤 496 発売
- 2024年 キリンビール晴れ風 発売

主な製品



キリンビール_業績推移

単位：億円

主要財務データ	JGAAP	IFRS									
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上収益	7,072	6,555	6,470	6,681	6,650	6,322	6,383	6,351	6,481	6,627	6,655
酒税売上収益	4,153	3,731	3,721	3,897	3,901	3,731	3,713	3,730	3,922	4,023	4,144
事業利益	626	708	716	809	833	732	680	715	729	751	889
酒税抜き事業利益率 (%)	15.1%	19.0%	19.2%	20.8%	21.4%	19.6%	18.3%	19.2%	18.6%	18.7%	21.4%

カテゴリー別 売上収益

ビール類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,018	5,024
RTD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,138	1,154
ノンアルコール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	104	114

カテゴリー別 売上数量実績 (千kl)

ビール類	1,796	1,698	1,626	1,710	1,715	1,638	1,571	1,532	1,442	1,415	-
RTD	282	293	318	359	382	429	449	435	424	449	-
ノンアルコール	28	26	42	39	40	44	49	46	43	42	-

ブランド別 売上数量実績 (千kl)

一番搾りブランド計	440	443	432	410	394	326	341	351	370	374	388
一番搾り計	405	388	382	375	368	280	257	287	304	309	305
晴れ風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	62
グッドエール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
淡麗グリーンラベル	192	188	182	172	166	170	171	158	146	136	128
本麒麟	-	-	-	120	192	253	231	215	194	172	152
氷結ブランド	198	211	234	233	242	245	255	270	288	303	303

国内酒類市場_販売容量推移・酒税額推移・容器別構成比

ビール4社出荷数量（千kl）

※市場の2025年データは競合のサイバー被害の影響で算出なし

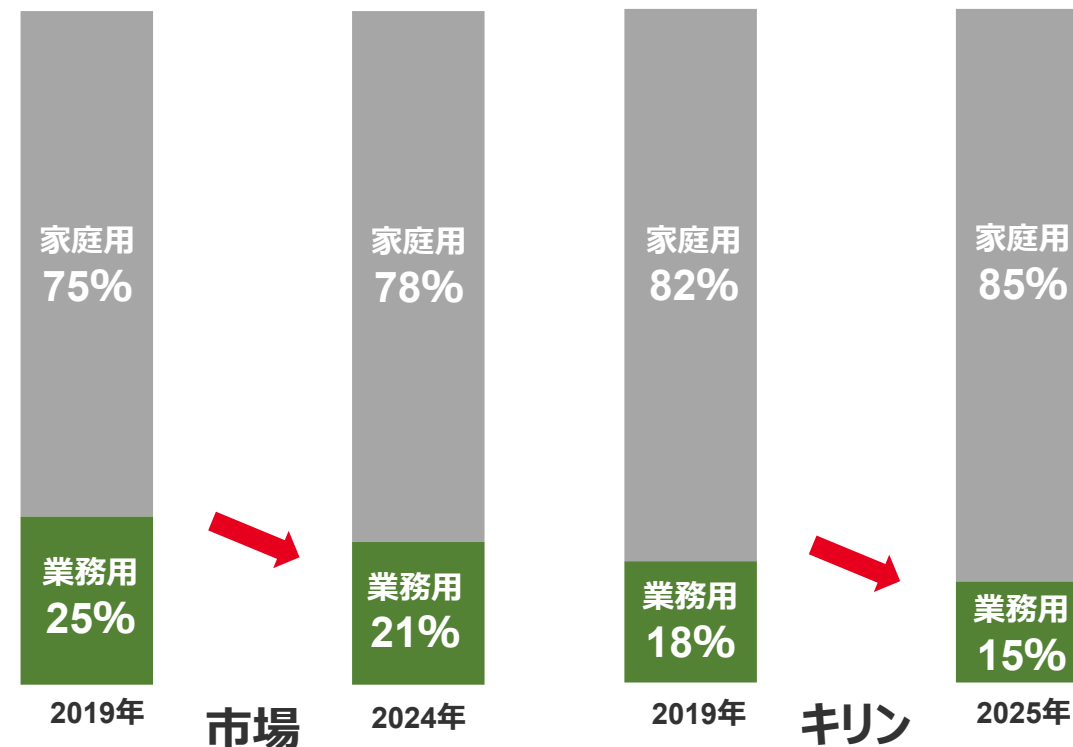
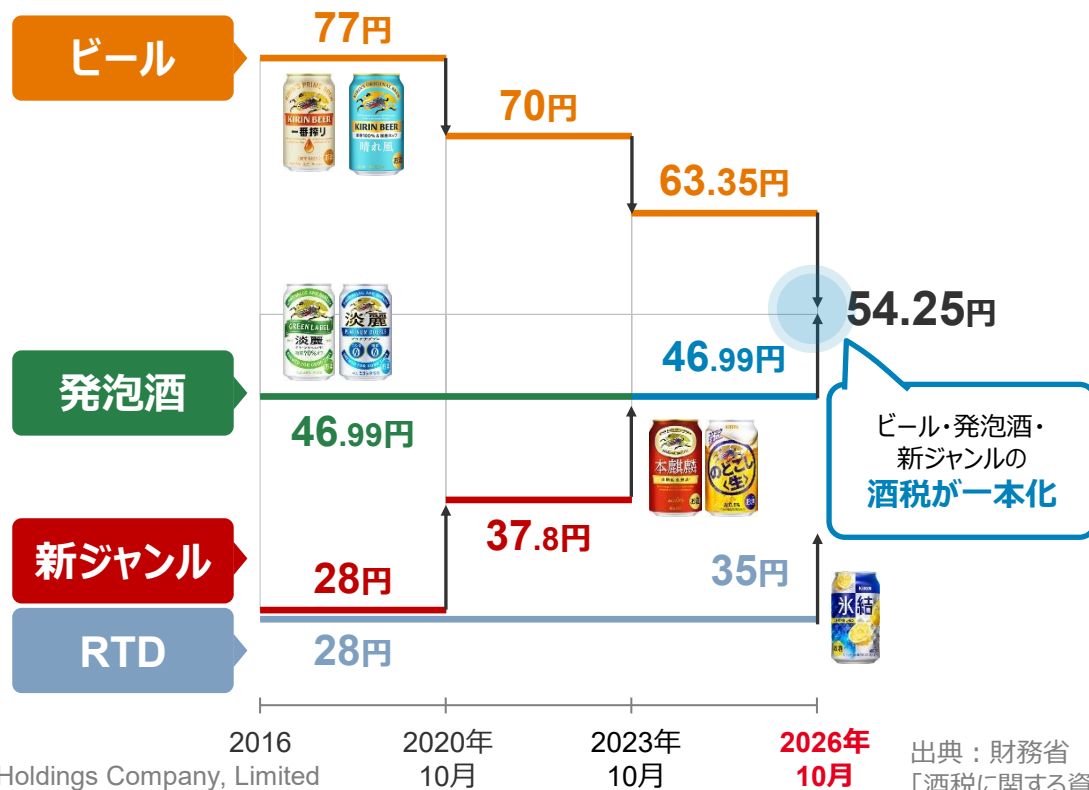
参照：キリン調べ

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
ビール類計	5,380	5,251	4,872	4,936	4,869	4,417	4,191	4,294	4,249	4,135	—
狭義ビール	2,721	2,668	2,590	2,419	2,319	1,811	1,798	2,053	2,191	2,293	—
発泡酒	778	725	627	631	586	580	592	568	634	707	—
新ジャンル	1,881	1,858	1,655	1,886	1,964	2,026	1,800	1,673	1,424	1,135	—
RTD	723	939	1,038	1,119	1,243	1,365	1,548	1,544	1,574	1,655	—

酒税改正に伴う350ml缶 1缶あたりの酒税推移

容器別構成比

※市場の2025年データは競合のサイバー被害の影響で算出なし

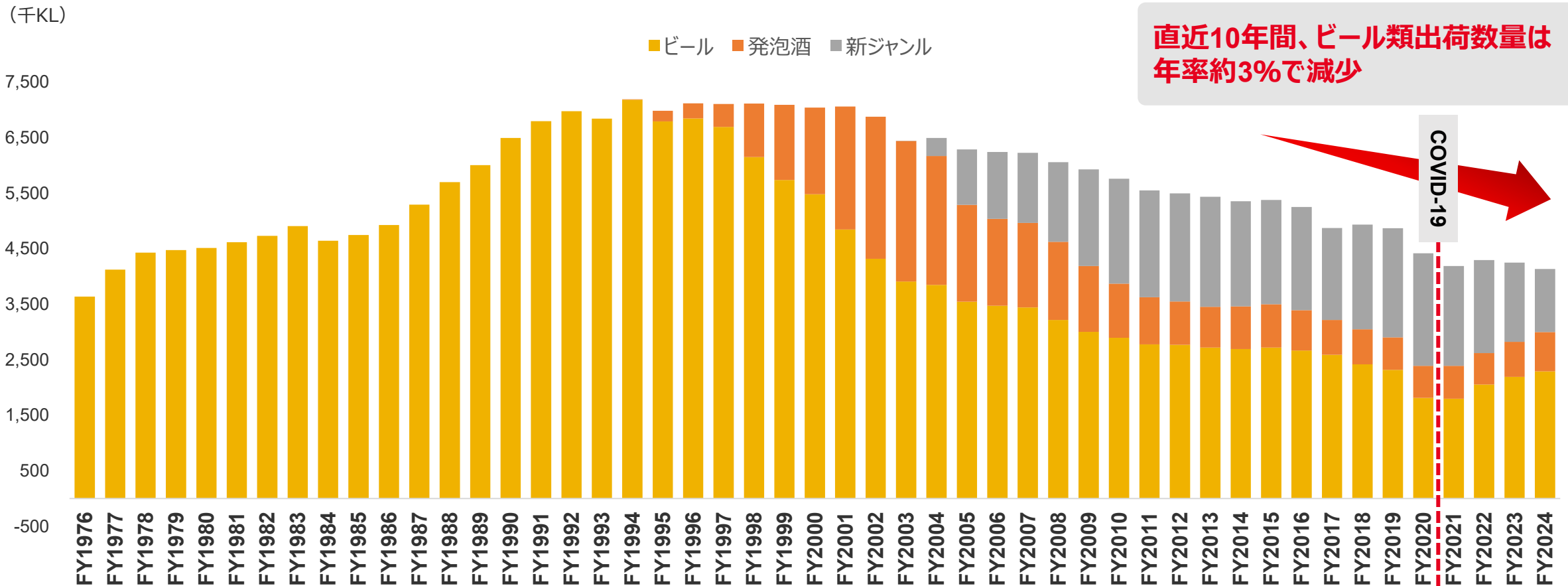


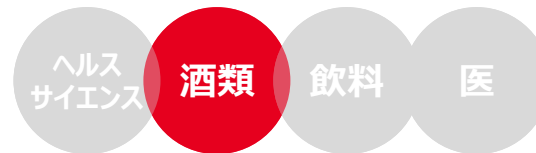
【市場】日本のビール類出荷数量推移

▶ 1994年をピークに市場は縮小傾向。2020年に発生したCOVID-19の影響による業務用縮小で販売量が減少。

ビール類4社計出荷数量推移 1976～2024

※市場の2025年データは競合のサイバー被害の影響で算出なし





*マネジメント体制の変更に伴い、2026年度より Lion（豪州・NZ）とNew Belgium他へ開示方法が変更。本資料の構成も併せて変更している。

基礎情報（Basic Information）

会社名

Lion Pty Ltd

事業内容

ビール、RTD、スピリッツなどの製造および販売。

展開国

豪州・ニュージーランド

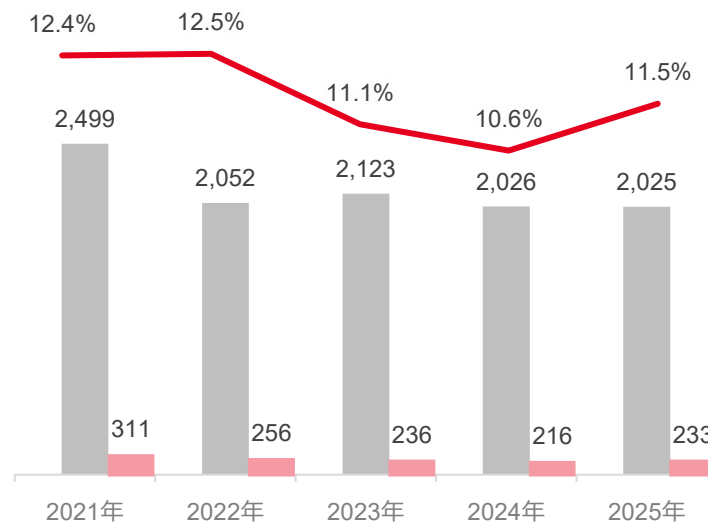
製造拠点

大規模工場は、豪州・NZ5工場

売上収益・事業利益規模（2025年）

売上収益 2,025mAUD
事業利益 233mAUD

売上収益：■ (million AUD) 事業利益：■ (million AUD) 事業利益率：—



決算期

12月

歴史

1840年設立
1998年より出資※2009年に100% New Belgium Brewingを2020年に、Bell's Breweryを2022年に獲得

主な製品



Lion_業績推移 (豪ドル)

単位：Million Australian \$

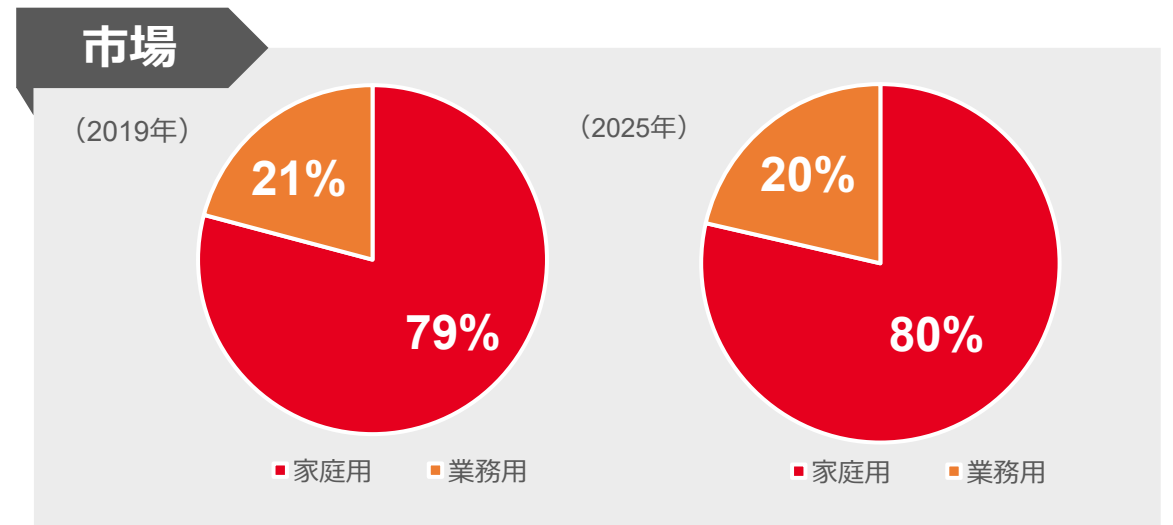
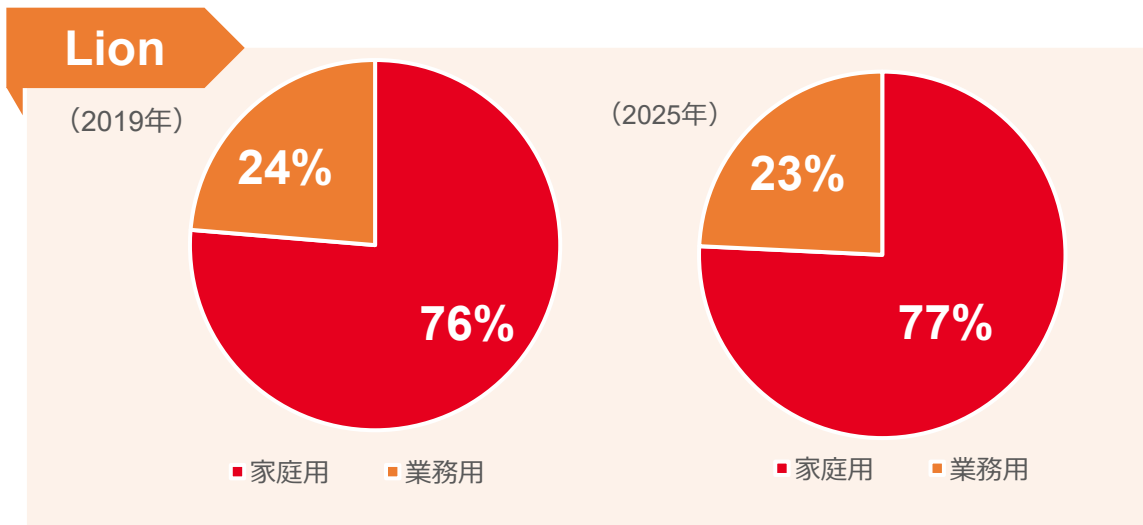
主要財務データ 年度	JGAAP		IFRS				
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
売上収益	4,709	4,406	4,044	4,016	3,949	3,958	2,617
酒類	2,669	2,592	2,265	2,260	2,261	2,402	2,499
飲料	2,040	1,814	1,779	1,756	1,689	1,556	117
事業利益	686	650	609	634	545	295	321
酒類	721	683	632	651	593	328	401
飲料	46	61	62	63	21	40	11
本社	-81	-94	-85	-83	-70	-73	-90

主要財務データ 年度	IFRS			
	2022	2023	2024	2025
売上収益	2,808	3,002	2,942	2,935
うち豪州・NZ	2,038	2,124	2,026	2,025
うち北米クラフト他	770	878	916	909
事業利益	346	346	313	320
うち豪州・NZ	262	236	216	233
うち北米クラフト他	84	110	97	87

* 2021年度までは豪州乳飲料事業を含む実績値。2021年に同事業の売却を完了。

** 2022年度から「豪州・NZ」、「北米クラフト他」の明細を記載（本社コストは豪州・NZを含む）。

Lion (豪州) / 市場 (豪州) ビール業態別数量構成比





*マネジメント体制の変更に伴い、2026年度よりLion（豪州・NZ）とNew Belgium他へ開示方法が変更。本資料の構成も併せて変更している。

基礎情報 (Basic Information)

会社名

New Belgium Brewing

事業内容

ビール、RTDなどの製造および販売。

展開国

北米

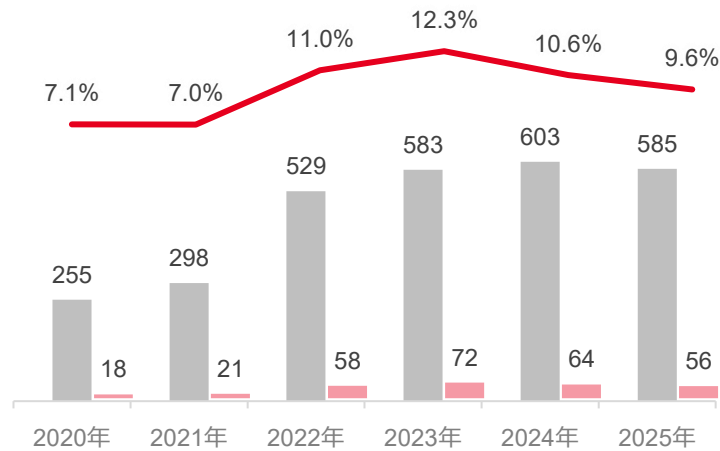
製造拠点

北米4工場

売上収益・事業利益規模 (2025年)

売上収益 585mUSD
事業利益 56mUSD

売上収益：■ (million USD) 事業利益：■ (million USD) 事業利益率：—



決算期

12月

歴史

- New Belgium Brewingを2020年に、Bell's Breweryを2022年に獲得
- マネジメント体制に伴い、2026年より個別開示を開始

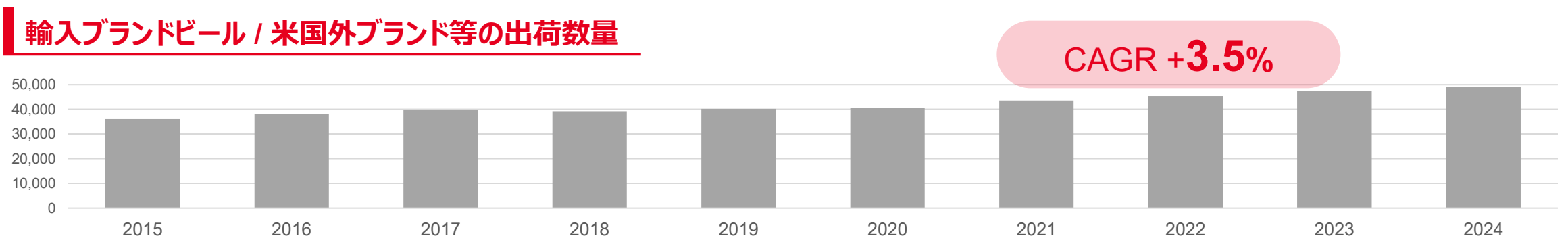
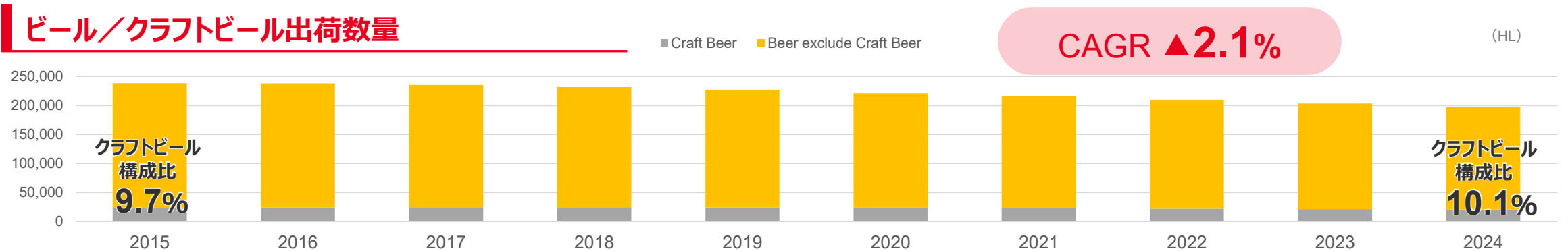
主な製品



New Belgium Brewing 業績推移 (米ドル)

単位：Million US \$

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上収益	255	298	529	583	603	585
事業利益	18	21	58	72	64	56





SAN MIGUEL BREWERY INC.

A subsidiary of San Miguel Corporation

基礎情報 (Basic Information)

会社名

San Miguel Brewery Inc.

事業内容

フィリピン国内外におけるビール等の製造および販売。
フィリピンでの市場シェアは9割超。

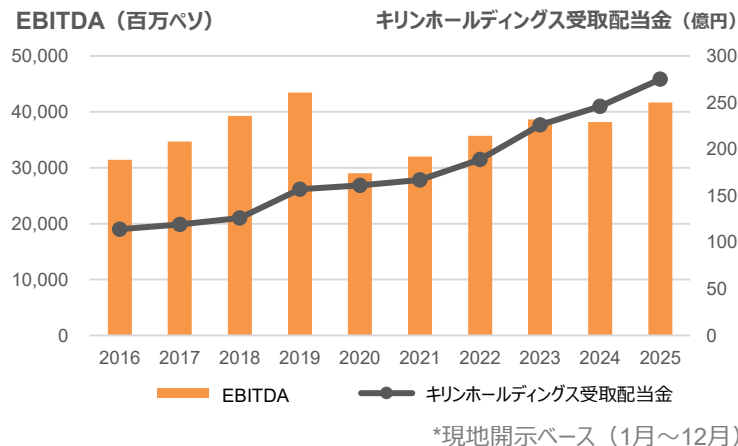
展開国

フィリピン・東南アジアを中心に
テリトリー展開

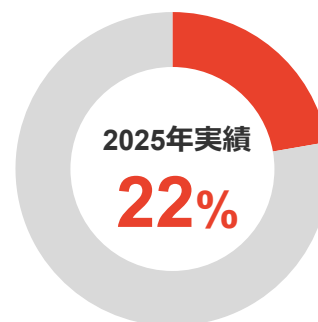
拠点

製造工場：7か所

事業の成長実績



キリングroupのEPSへの貢献度



持分比率・決算期

持分法適用会社-持分比率48.4%
キリンHD年間取り込み期間：10月-9月

歴史

1890年San Miguel Corporation設立
2001年~キリン出資
2017年にSan Miguel Brewery設立

主な製品



San Miguel Brewery__業績推移

単位：Million Peso

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上高	92,882	108,518	125,961	139,770	110,871	117,528	133,196	145,576	150,234	152,884
営業利益	25,599	29,882	35,665	37,573	25,329	27,840	30,959	31,404	30,727	33,888
営業利益率	27.6%	27.5%	28.3%	26.9%	22.8%	23.7%	23.2%	21.6%	20.5%	22.2%
減価償却費及び償却費他	-	-	-	-	-	4,991	5,812	7,100	7,441	7,788
EBITDA（営業利益 + 減価償却費及び償却費他）	-	-	-	-	-	31,831	36,771	38,504	38,168	41,676

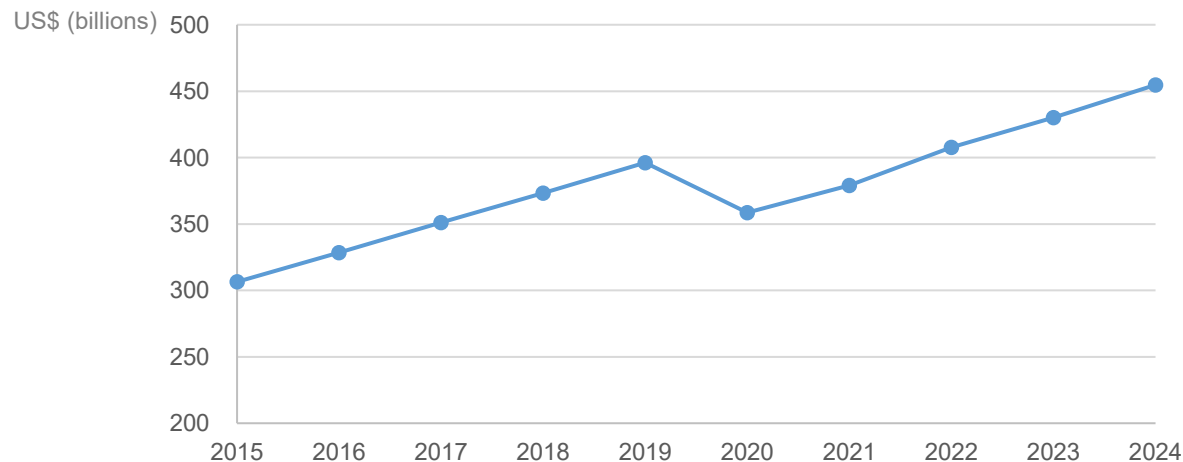
* 減価償却費及び償却費他、EBITDA（営業利益 + 減価償却費及び償却費他）は2021年から開示開始

持分法による連結取り込み及びキリンホールディングス受取配当金

（億円）

当期利益（San Miguel Brewery）	366	433	504	541	393	447	524	631	650	678
連結取込	175	210	245	263	191	217	254	303	310	327
配当金（億円）	114	119	126	157	161	167	189	226	246	275
1株当たり配当金（ペソ）	0.66	0.72	0.82	1.00	1.00	1.00	1.04	1.2	1.2	1.4

フィリピンの実質GDP推移



年平均GDP成長率

約4%

（2015年～2024年）

参照：世界銀行 World Development Indicators データ（実質GDP: 米ドルベース）

CONTENTS

1 Our 3-year plan towards 2028 and The Financial Strategy to Drive It Forward / 2028年に向けた計画とそれを推進する財務戦略

- Financial Strategy / 財務戦略
 - Non-Financial Targets / 非財務目標
-

2 Corporate Data / コーポレートデータ

- Business Overview / 事業概要
 - Key Financial Data Trends/ 主要財務データ推移
 - Stock Information/ 株式情報
 - Corporate History / 企業沿革
-

3 Health Science business / ヘルスサイエンス事業

- Health Science Business / ヘルスサイエンス事業
- FANCL / ファンケル
- Blackmores/ ブラックモアズ
- 市場・自社データ/ Market & Company Data

4 Non-Alcoholic Beverages business / 飲料事業

- Kirin Beverage / キリンビバレッジ
 - Coke Northeast / コーク・ノースイースト
-

5 Alcoholic Beverages business / 酒類事業

- Kirin Brewery / キリンビール
 - Lion / ライオン
 - New Belgium Brewing / ニューベルジャン
 - San Miguel Brewery / サンミゲルビール
-

6 Pharmaceuticals business / 医薬事業

- Kyowa Kirin / 協和キリン

基礎情報 (Basic Information)

会社名

協和キリン株式会社

事業内容

医薬品の研究開発・製造・販売

展開国・地域

日本、北米、EMEA、APAC

製造拠点・研究開発拠点

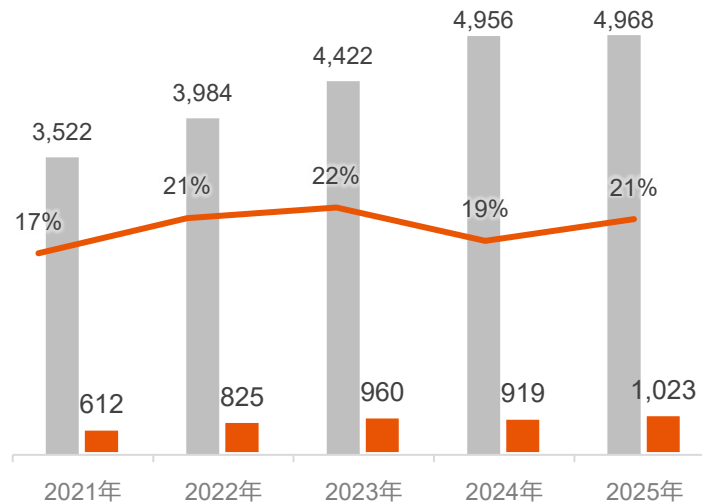
研究所：
東京リサーチパーク、富士リサーチパーク、バイオ生産技術研究所、CMC研究センター、ラホヤ研究所

工場：
高崎、宇部、ノースカロライナ (2027年竣工予定)

売上収益・事業利益規模 (2025年)

売上収益 4,968億円
事業利益 1,023億円

売上収益：■ (億円) 事業利益：■ (億円) 事業利益率：—



持分比率

持ち株比率約55%を保有する上場子会社

歴史 (キリン医薬事業)

1980年代に医薬品の研究を開始
その後、協和発酵工業と合併をし、現在の協和キリンとなる。

主な製品



協和キリン_売上収益・事業利益推移

単位：億円

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上収益	2,784	2,625	2,748	2,704	3,058	3,184	3,522	3,984	4,422	4,956	4,968
研究開発費	非開示	非開示	非開示	非開示	535	523	577	629	721	1,035	1,012
研究開発費率	非開示	非開示	非開示	非開示	17%	16%	16%	16%	16%	21%	20%
事業利益	362	263	550	504	554	504	612	825	960	919	1,023

主要アイテム 売上収益（億円）

Crysvita**	—	—	—	77	326	582	855	1,271	1,524	1,966	2,164
Poteligeo	—	—	—	21	128	136	173	242	303	399	546

主要アイテム 治療患者数（人）***

Crysvita	—	—	—	—	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000
----------	---	---	---	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

* 2018年以前は協和発酵キリンの「医薬」事業の売上収益・事業利益を記載

** Ultragenyx社が売上計上するラテンアメリカおよびトルコは含みません。

*** 治療患者数は当社算定に基づく概数です。



よろこびがつなぐ世界へ Joy brings us together